



土壌圏の科学(2022.1.11)

@農学部2号館化2教室

土壌の凍結

東京大学

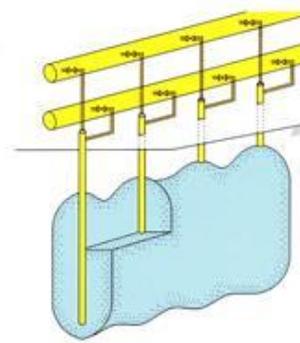
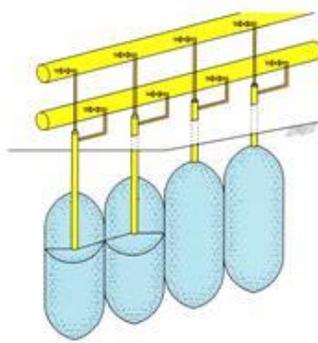
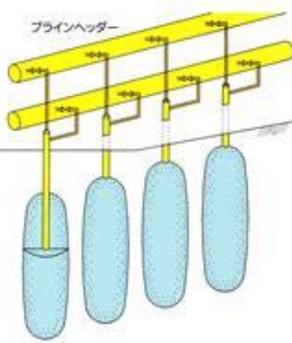
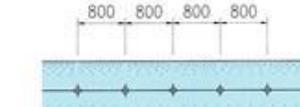
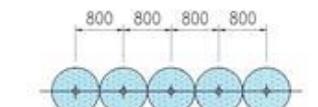
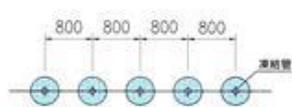
大学院農学生命科学研究科

農学国際学専攻・国際情報農学研究室

教授 溝口 勝



いま再び 凍土が熱い！



久々に「凍土遮水壁」の話題

東日本大震災

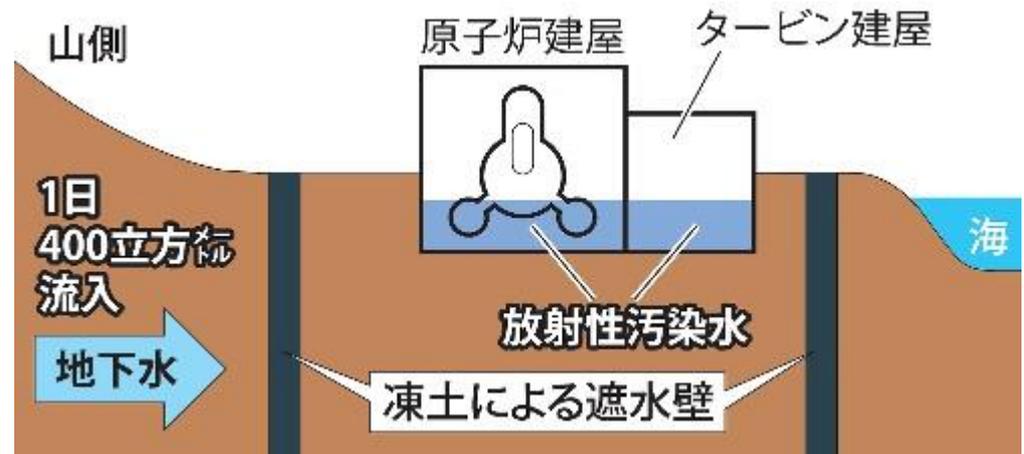
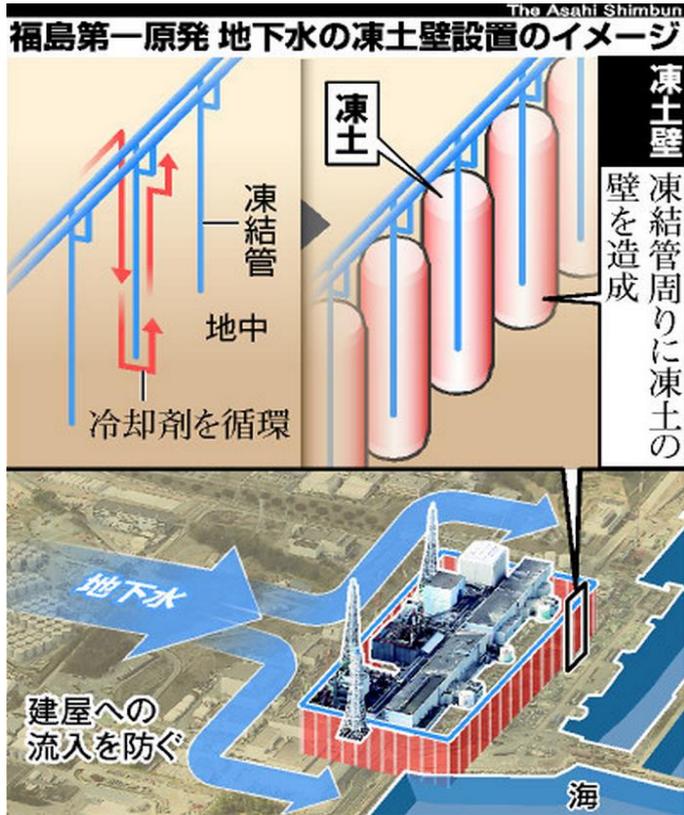
福島第1原発事故 「凍土遮水壁」 温度0度以下に

社会 | 事件・事故・裁判 | 企業・産業 | 朝刊総合面

毎日新聞 | 2021/12/14 | 東京朝刊 | 有料記事 | 259文字

東京電力は13日、福島第1原発の建屋周辺の地盤を凍らせて、汚染水の原因となる地下水の流入を抑える「凍土遮水壁」の温度が上昇した問題で、地中に8本の鋼鉄製の管を並べて打ち込んだ後は温度が0度以下になったと発表した。温度が上昇した場所のそばで地下水流入が確認されていた。担当者は「鋼管で地下水の流れが阻害されて温度が下がった可能性もあるとみて、引き続き遮水壁の止水効果や温度変化を確認したい」と説明した。凍土壁は1～4号機建屋周囲の全長約1.5キロに、約1600本の凍結管を埋設し、周囲の土壌を凍らせて氷の壁にする設備。

人工凍土の遮水壁



毎日.jp

福島第1原発:汚染水抑制、凍土で遮水壁設置へ
2013年05月30日



朝日新聞デジタル

福島第一原発周囲に「凍土の壁」案 経産相が東電に指示

2013年5月31日13時54分

凍土遮水壁

- 凍土方式による陸側遮水壁 (TEPCC)
- 「未来のために」凍土方式 陸側遮水壁工事
(鹿島)



これが
彼がその目で見てきた
「福島の実況」。

え
ふ

福島第一
原子力発電所
労働記(1)

これは
「フクシマの実況」
を基く漫画
ではない。

福島第一原発
作業員が描く
原発ルポ漫画。

い
ち

数值表示

地図 航空写真



東京電力(株) 福島第一
原子力発電所第二保...

2014.9.24



地盤凍結工法における 凍土の利用

(株)精研 資料より引用

https://www.seikenn.co.jp/business/freeze_ground/index.html

https://www.seikenn.co.jp/technology/freeze_ground/index.html

凍結工法とは？

水が凍ると？

..... 硬くなる。

..... 氷は水を通さない。

凍土 = 土の粒子の間の水が凍った物体



凍結工法のあゆみ

日本で発展させた技術

- ヨーロッパ生まれ、日本育ち
- 初施工：1862年イギリス（採鉱用立坑）
- その後、ヨーロッパ、旧ソ連、アメリカ・・・
- 日本での独自の研究と施行によって
- 日本初施工：大阪守口市1962年
- これまでの施工件数：約500件

凍結工法の特徴

①優れた強度

- 一軸圧縮強度 = 5MN/m^2 …… -10°C 粘土凍土
- 一般的なコンクリート = 21MN/m^2

②完全な遮水性

- 透水係数 $K < 10^{-12} \text{ cm/s}$
- 砂 $\sim 10^{-3}$ 、畑の土 $\sim 10^{-5}$ 、粘土 $\sim 10^{-8} \text{ cm/s}$
- (1 m/day)、(1 cm/day)、(3 mm/year)

③均質性

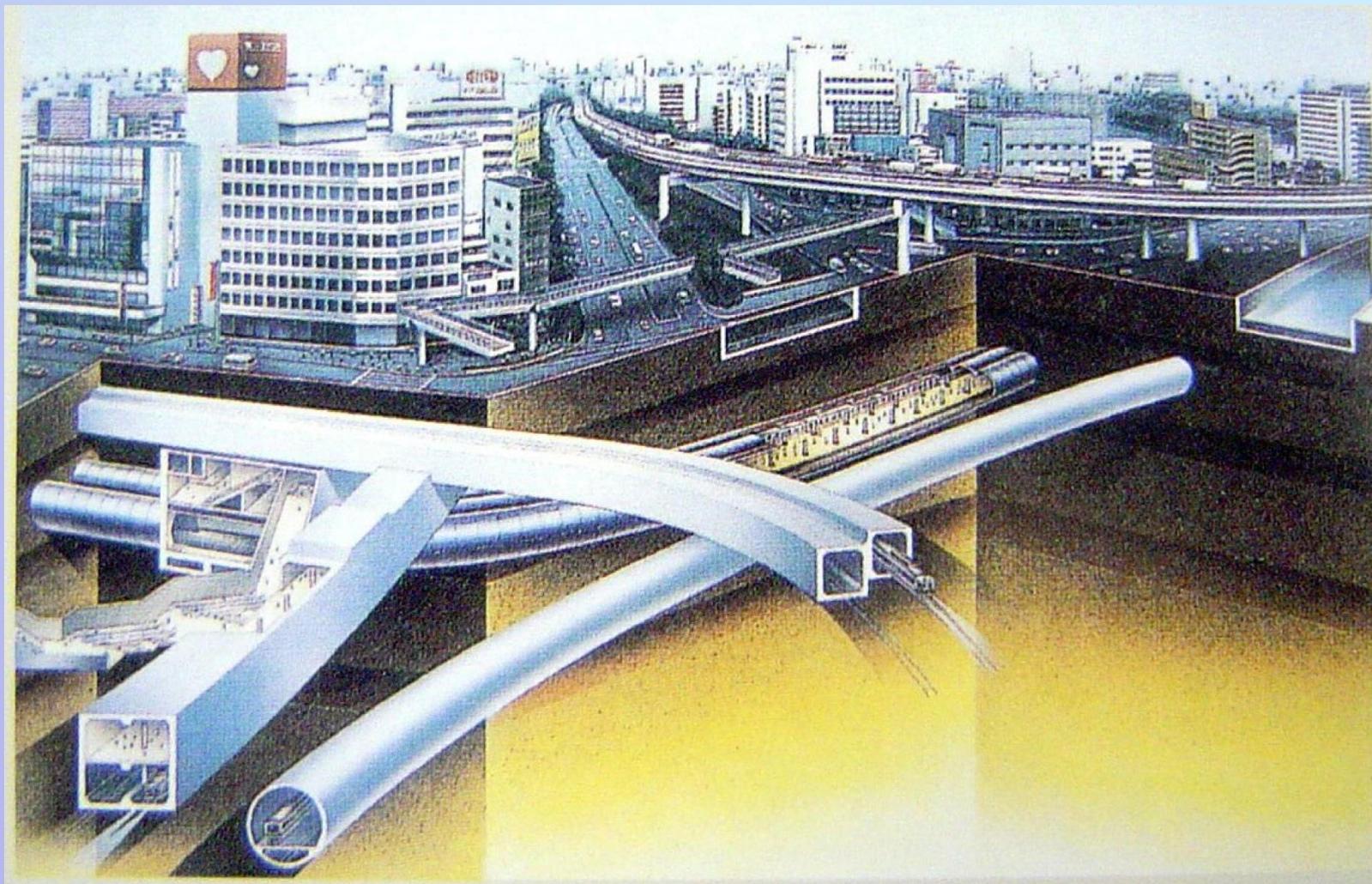
- 時間がたてば熱エネルギーが温度に高い所から低い所へ流れ、凍土壁内の温度は均一になる

④環境負荷が少ない

- 地下水汚染がない
- 解凍すると自然地盤に戻り、地下水流は工事前に戻る

具体例ートンネル工事

- ・ 地下は都市に残された最後の空間であ



都市部の地下は混雑！

- 新しい構造物はどんどん深く、大きくなる。
- また、日本の地下は水だらけなので、都市部ではシールド工法が数多く採用されている。

下水道トンネル
▲大阪市・十八条～西島下水道幹線

地下河川トンネル
▲神田川・環状七号線地下調節池

鉄道トンネル
▲都営大江戸線：飯田橋駅～春日駅

地下送電線トンネル

送水管トンネル

地下ガストンネル

橋りょう下トンネル図

▲東京都内地上風景

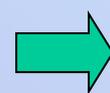
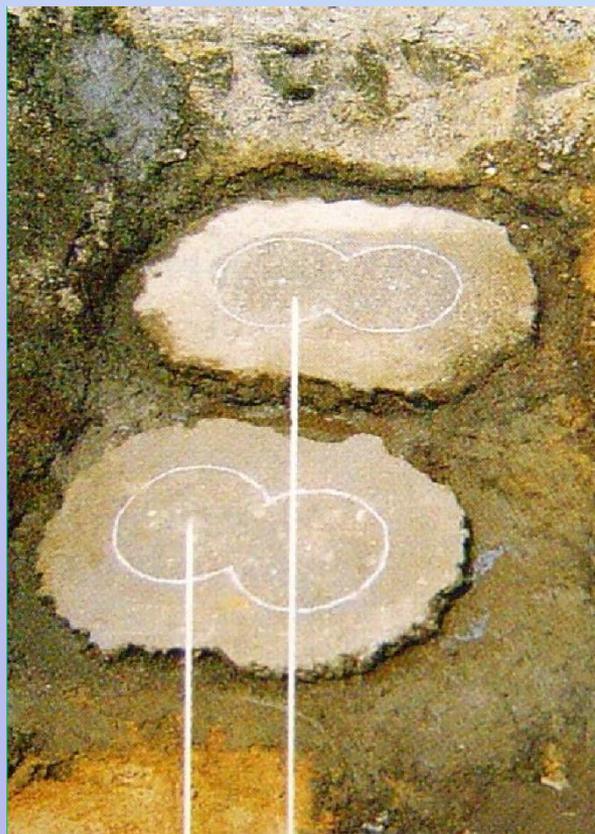
▲JR東西線/大阪市：淀川橋りょう下トンネル



・シールド発進部や接続部では立坑壁を撤去したり地山を掘削する必要。ただし、そのままでは地下水・土砂が流入

……**地盤を改良する必要がある！**

・ところが・・・ 大深度や大口径では薬液注入やセメント混合による地盤改良では不安が残る。



・凍土壁の利用



U M I H O T A R U

360° PANORAMA VIEW



凍結工法施工例

＜東京湾横断道路（東京湾アクアライン）＞

- ・ H7年～9年(1995～1997)
- ・ 前例のない大規模海底トンネル工事

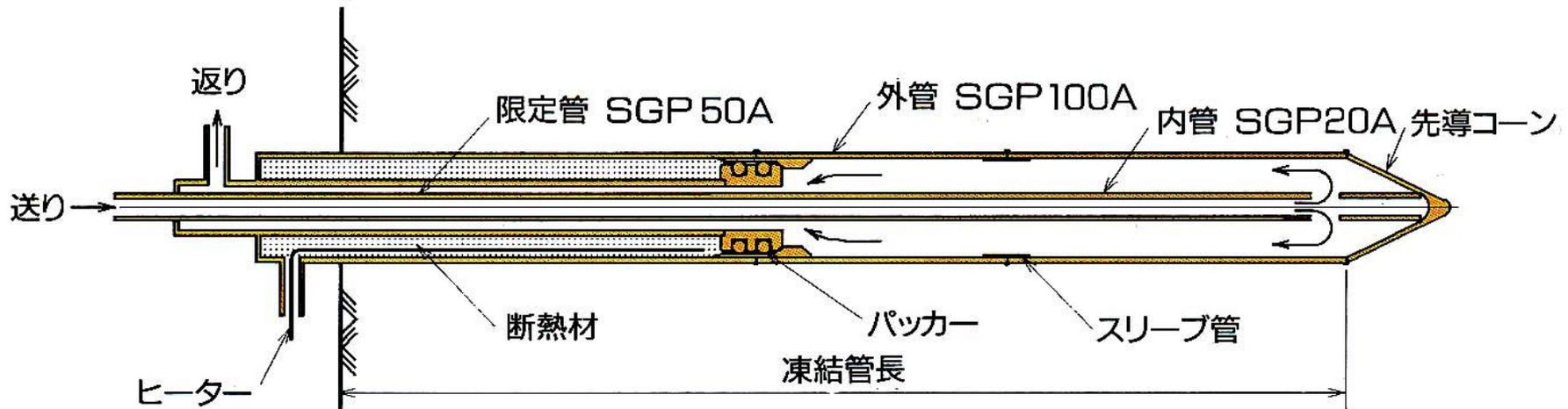






凍結管（例：限定凍結管）

● 限定式凍結管（鉛直限定凍結管に使用）



・ 凍結管埋設のためのボーリング削孔



・ Vertical boring

冷凍機



凍土壁の形成

・約1週間後

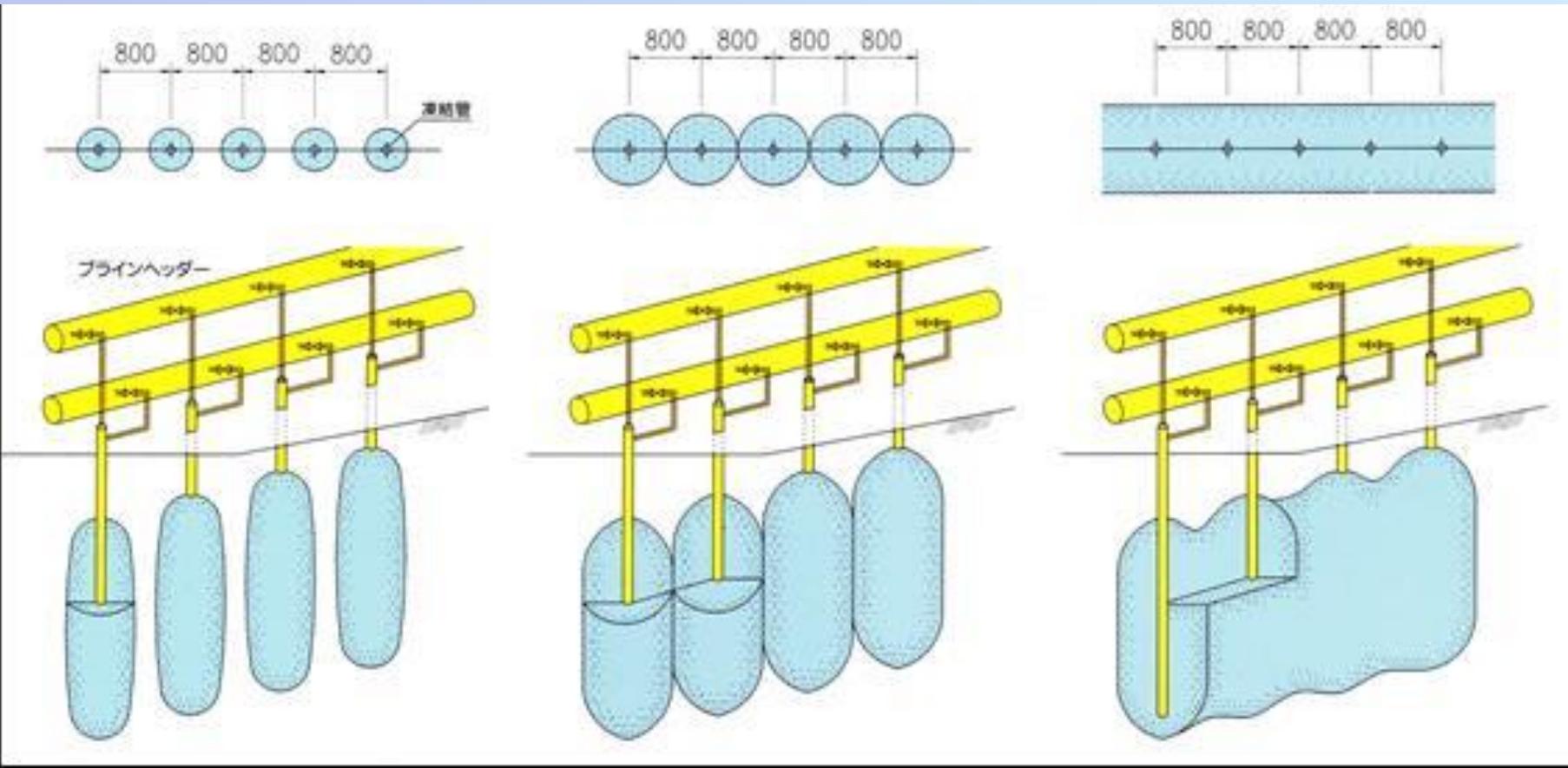
凍土柱成長中

・約2週間後

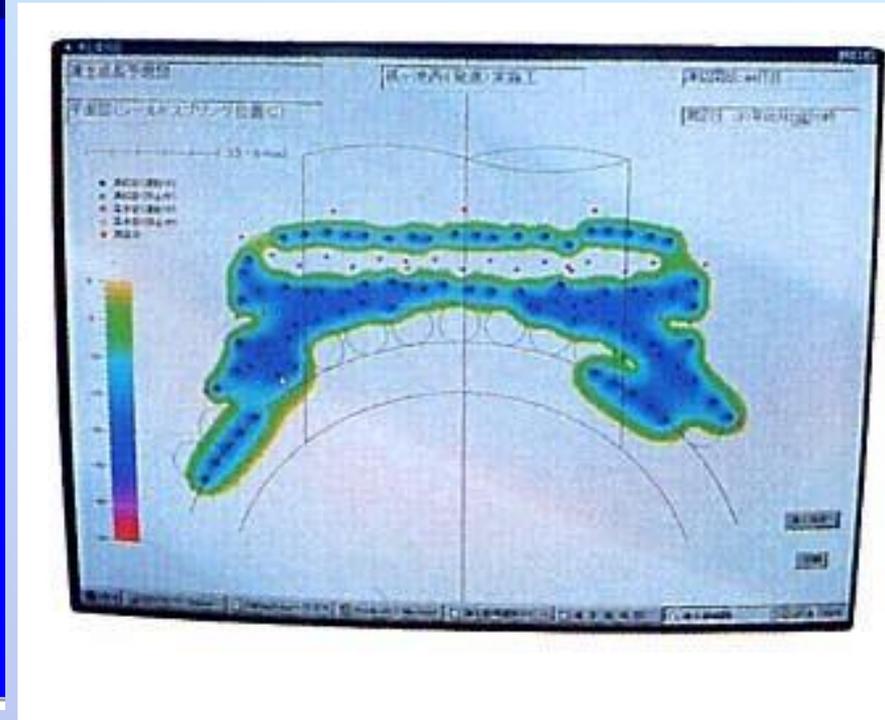
凍土柱が連続し、
凍土壁になり始める

・約4週間後

十分な強度と厚みの
土留め壁が完成する



・ 地中温度の計測



農学部なのに
なぜ凍土研究を始めたのか？



この巻頭は
魅る
目下巻

再生医療が驚く動物医療の未来
動物医療

動物医療
森林のサークルとどこへ？
二巻

食品研究
アムステルダムに魅る
二巻

動物医療
動物医療の未来
二巻

クリック

<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/pr-yayoi/61f6.pdf>

クリスマス イブの霜柱



東京大学大学院理学系研究科
溝口 野成
No.10000000

土 気象物理学をやりたいと思ったのは、学生のころ偶然出会ったある発見がきっかけです。昔々の農家の衣食住だったのは、いかに自然の恵れで農作業に連なっていたのですが、入学してからは農業が離れ、正倉「農学はこんなものなのか」という疑問が湧いてきました。これもみな理想論ばかりで、地に足がつかない感じがしたのです。

いよいよ卒業を前にしたとき、「どうせ理想論に終わるなら、いっそのこと一番現実的なものをやってみよう」と思い立ち、土壌物理学の研究科に飛び込みました。土壌物理学は農学と物理学の境界領域を専門に学問で、まさに「現実派」の代表格に見えました。めったに卒業のテーマを地盤のデータ解析に定め、物理的測定値を自合して土の温度を測るはじめてです。これは経験にも通じているのは夏なのですが、実際に測り始めたのは十月末、テーマが執筆に上り始めたのは真冬でした。そして、11月17日

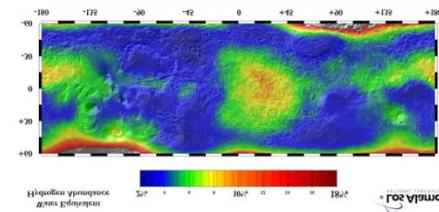
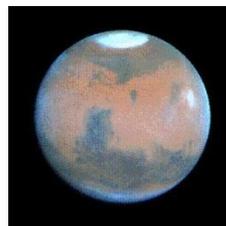
キヤヌイグの朝、ある事件が起こったのです。

明け方近くに農圃小屋に行くと、キヤヌイグにたどり着いてはいた地表面の温度が異常に冷たくなっていました。「温度計が壊れた」「凍害」「越冬」の二文字が頭に浮かびました。懐中電灯を持って農圃に走り、地盤を探ると、なんとかが光っています。驚愕でした。それでわかったのです。この実際の温度実測は土が凍りにはめったに発生しないことが、それがすべての始まりでした。これをきっかけに研究テーマが土の凍結現象に定まり、いつしかそれはキヤヌイグの冬と土壌学と水文学と気象学の研究家との交流へとわたる準備ができています。

かつて「現実派」に思っていた土壌物理学、いまではとても現実的な学問だと思っています。たしかに農業関係の現場による農地の管理や防災事故で作られた農地改良の課題、そのほかを指してこれらが土壌物理学です。そのほかの課題も聞いていただくのは、あの朝のあの驚愕でした。

なぜ凍土研究が必要なのか？

- 凍上害の克服
 - 道路・農地
- 凍土の利用
 - 遮水壁
 - 人工地盤凍結工法
 - 農地除染
- 地球温暖化
 - 永久凍土の融解
- 惑星
 - 水の存在



凍上害



青森県下北郡佐井村国道338号(国土交通省HP)

http://www.mlit.go.jp/river/press_blog/past_press/press/200101_06/010511/010511-2.html



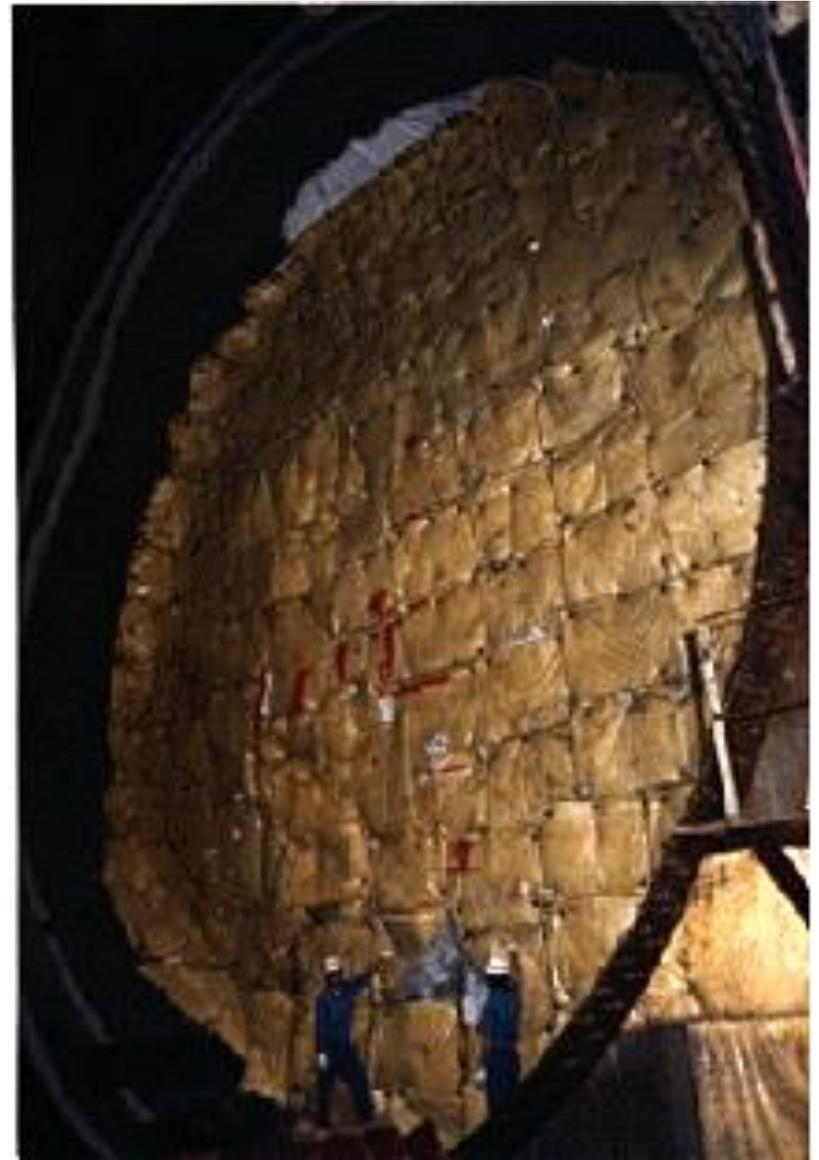
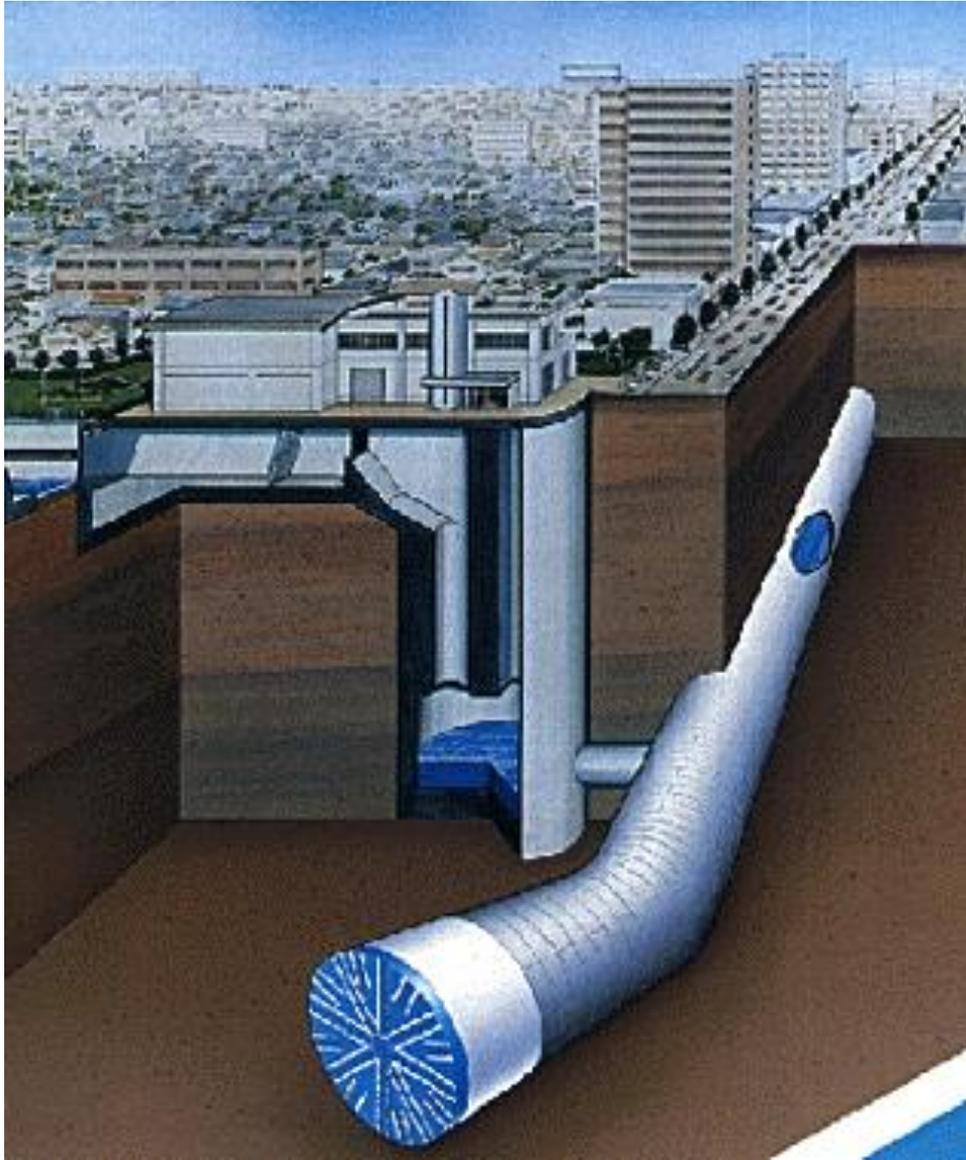
牧草の断根(農研機構HP)

<http://www.naro.affrc.go.jp/org/harc/alfalfa/winter.html>

アラスカ
永久凍土地帯の住まい



大都市部の地下を走る 洪水調整トンネルと凍結工法



土の凍結に関する土壌科学

霜柱



なぜ霜柱は成長するのか？

- 霜柱の上には土粒が載っている
- 2階・3階建ての霜柱もある
- 霜柱のできやすい土とは



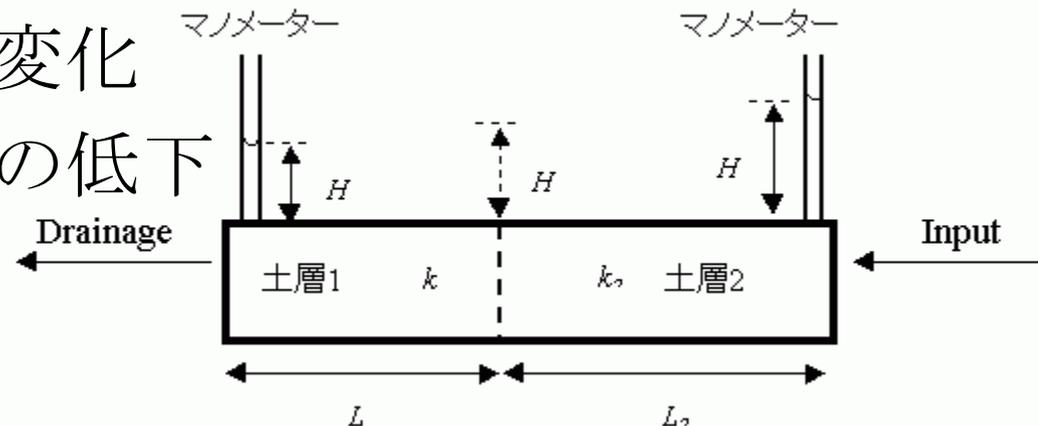
- 土壌中の熱と水分の移動が重要

凍結と蒸発を伴う水分移動

- 乾燥過程の水分移動
 - 液状水が水蒸気に相変化
 - 水ポテンシャルの低下

$$q = -k \frac{\Delta H}{\Delta x}$$

- 凍結過程の水分移動
 - 液状水が氷に相変化
 - 水ポテンシャルの低下



土壌水の上向き移動の駆動力 (毛管現象)



- 水は隙間を昇ってゆく
- 土はいろんな大きさの隙間で構成される
- 土の中の水は繋がっている
- 水の上昇速度は土の種類で異なる

写真： 濾紙に浸み込んで上昇する水

土壌水の熱力学

- 毛管現象

$$h = 2\sigma/\rho gr \doteq 0.15/r \text{ (cm)}$$

σ : 表面張力 ρ : 水の密度

g : 重力加速度 r : ガラス管の半径

- サクシオン(水ポテンシャル)

$$h = (RT/Mg)\ln(P_s/P_0) \doteq 3 \times 10^6 \log(P_s/P_0) \text{ (cm)}$$

$$pF = \log |h|$$

R : ガス定数 T : 絶対温度 M : 水の分子量

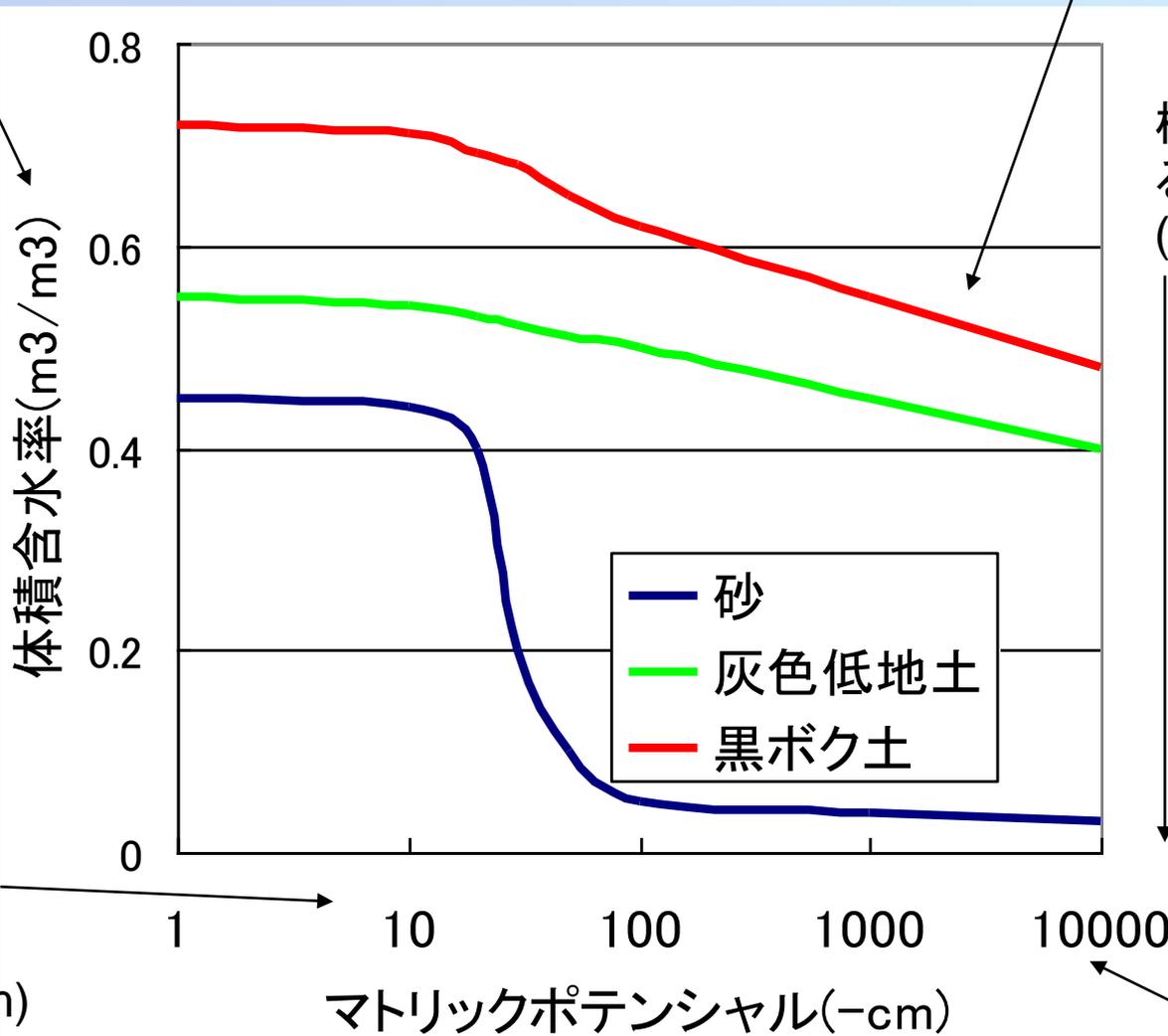
P_s/P_0 : 相対湿度

– 相対湿度80%, 20°Cでは、 $pF=5.5$

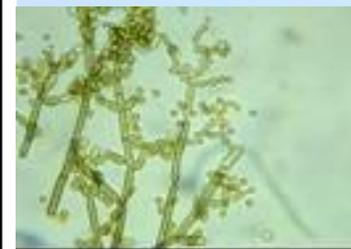
土の保水性 (水分特性曲線)

土の塊に含まれる水の体積

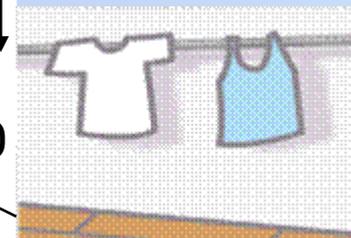
植物の成長に影響



植物が枯れる水分量 (15000)



カビも発生しやすい
湿度99.3%

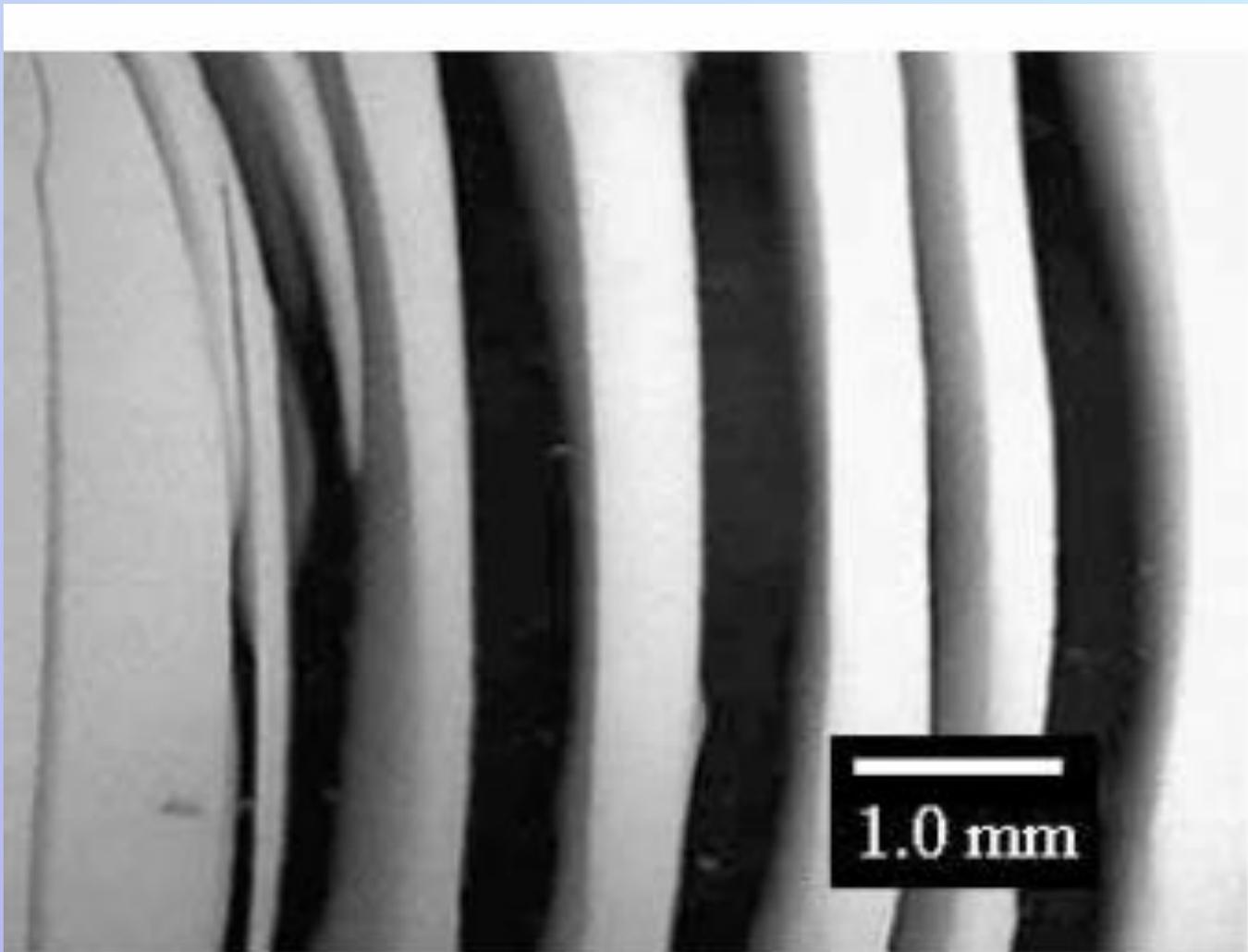


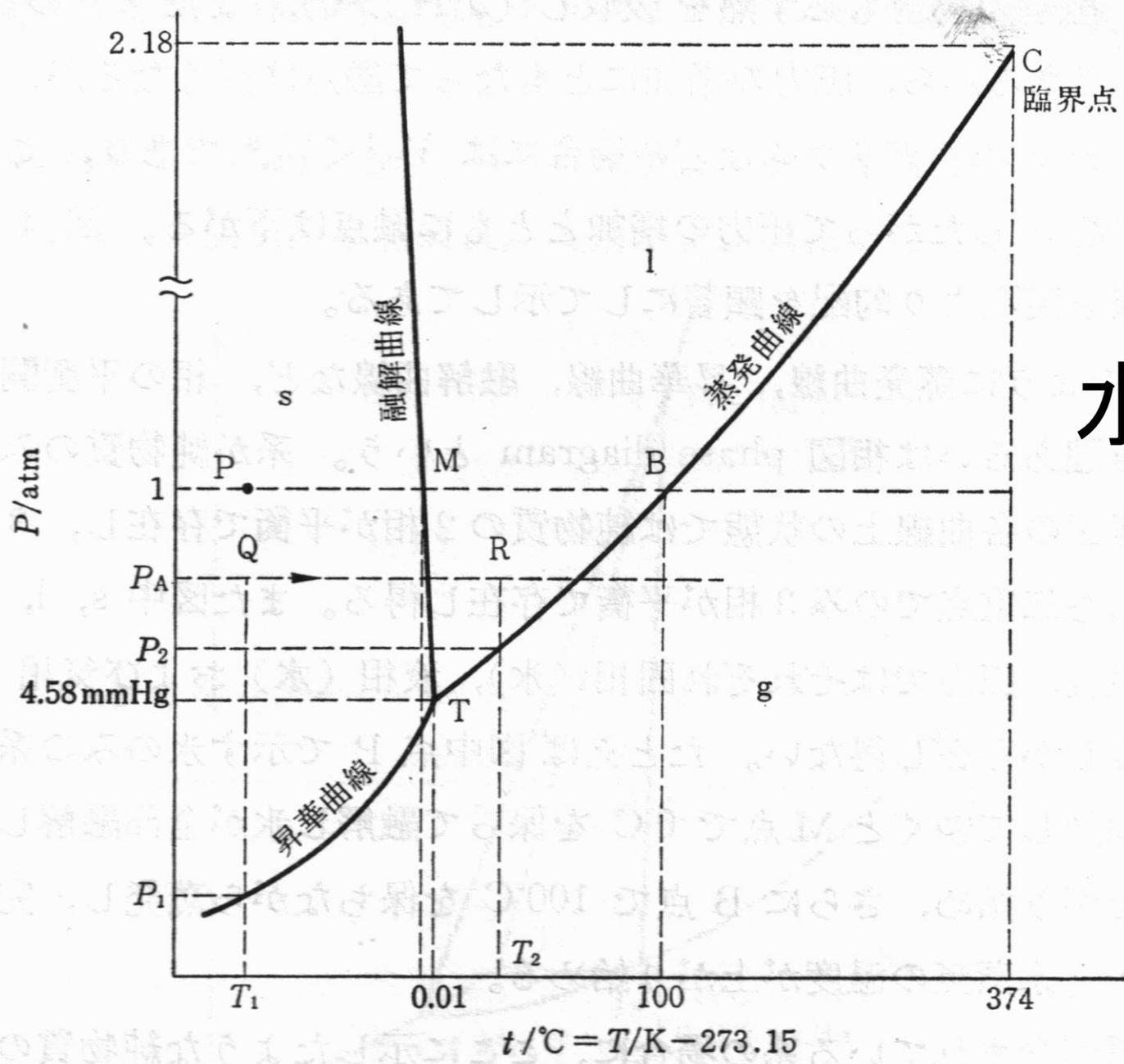
水面から高さ10cmの水分量

$$h = 0.15/r \text{ (cm)}$$

凍土中におけるアイスレンズの成長

Growing Ice lenses in freezing soil





水の状態図

火星

-63°C

6 hPa(4.5mmHg)

図 4.4 水の状態図の略図

化学ポテンシャル

熱力学第1法則

$$dU = dQ + dW \dots \textcircled{1}$$

体積仕事だけの場合

$$dW = -PdV \dots \textcircled{2}$$

熱力学第2法則

$$dQ = TdS \dots \textcircled{3}$$

①②③より

$$dU = TdS - PdV \dots \textcircled{4}$$

ギブスの自由エネルギー

$$G = U + PV - TS \dots \textcircled{5}$$

$$dG = VdP - SdT \dots \textcircled{6}$$

化学ポテンシャル

= 1モルあたりの自由エネルギー

$$G/n \equiv \mu \dots \textcircled{7}$$

$$d\mu = vdP - sdT \dots \textcircled{8}$$

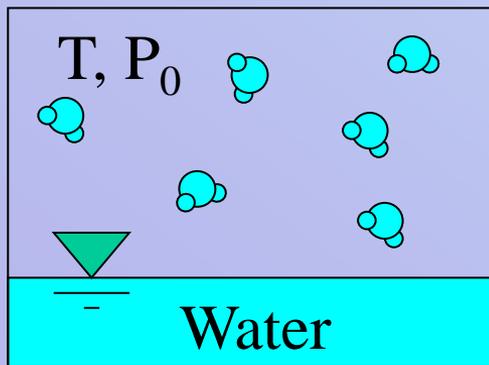
吸着水と水蒸気の平衡 (温度一定)

水蒸気Aと水蒸気B(C)の化学ポテンシャル差= P_s を P_0 にするために必要な仕事量

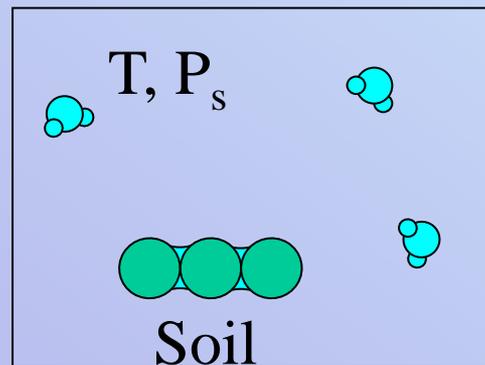
$$\mu_0 - \mu_s = \int_{P_s}^{P_0} v dP = \int_{P_s}^{P_0} \frac{RT}{P} dP = -RT \ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right) > 0$$

$$PV = nRT \quad v = \frac{V}{n} = \frac{RT}{P}$$

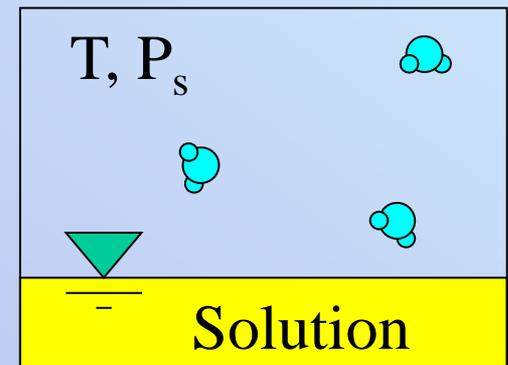
P:水蒸気圧 v:体積(比容積)
R:ガス定数 T:絶対温度
 P_s/P_0 :相対湿度



(A) 水蒸気—純水



(B) 水蒸気—土壤水



(C) 水蒸気—溶液

吸着水の化学ポテンシャル (単位エネルギー)

① モルあたり J/mol $\Delta\mu_s(T) = \mu_s(T) - \mu_0(T) = RT \ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right) < 0$

② 質量あたり J/kg $\Delta\mu_s(T) = \frac{RT}{M} \ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right)$

③ 体積あたり J/m³ = Pa: 圧力 $\Delta\mu_s(T) = \frac{\rho RT}{M} \ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right)$

④ 重量あたり J/gw = m: 水柱高 $\Delta\mu_s(T) = \frac{RT}{gM} \ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right)$

R=8.314 (J/mol/K), T=293.15 K(20°C), $\rho=10^3$ (kg/m³), M=18x10⁻³ (kg/mol),
g=9.8 (N/kg), $\ln\left(\frac{P_s}{P_0}\right) = 2.3 \times \log\left(\frac{P_s}{P_0}\right)$

③ $\Delta\mu_s(T) = \frac{10^3 \times 8.314 \times 293.15}{18 \times 10^{-3}} \times 2.3 \times \log\left(\frac{P_s}{P_0}\right) = 3.11 \times 10^8 \times \log\left(\frac{P_s}{P_0}\right)$ [Pa]

相対湿度と吸着水のポテンシヤル

相対湿度	水ポテンシヤル (20°C)				
	P_s/P_0	J/kg	③ Pa	④ cmH ₂ O	⑤ pF
1		0	0	0	∞
0.99999		-1	-1000	-10.2	1
0.99993		-10	-10000	-102	2
0.99926		-100	-100000	-1020	3
0.99264		-1000	-1000000	-10200	4
0.92877		-10000	-10000000	-102000	5
0.8		-30214	-30214000	-308185	5.5

$$\textcircled{4} \quad \Delta\mu_s(T) = \frac{8.314 \times (273.15 + 20)}{9.8 \times 18 \times 10^{-3}} \times 2.3 \times \log\left(\frac{P_s}{P_0}\right) = 3.18 \times 10^6 \times \log\left(\frac{P_s}{P_0}\right) \quad [\text{cm}]$$

$$\textcircled{5} \quad pF = \log |cmH_2O|$$

風乾土の吸着水の化学ポテンシャル

例題1. 相対湿度80%, 20°Cの水蒸気と平衡する土壌の吸着水のpFを求めよ。

解答: ④より $\Delta\mu_s(T) = 3.18 \times 10^6 \times \log(0.8) = 3.18 \times 10^6 \times (-0.0969) = -3.08 \times 10^5$ [cm]

⑤より $pF = \log|-3.08 \times 10^5| \approx 0.5 + 5 = 5.5$

解説: 相対湿度80%は日本の大部分の地域の年平均値である。土を自然に乾燥させた「風乾土」のpFは5.5くらいと記憶しておくが良い。

炉乾土の吸着水の化学ポテンシヤル

例題2. 相対湿度80%, 20°Cの実験室にある105°Cの乾燥炉で乾燥した土壤の吸着水のpFを求めよ。

解答: 20°Cにおける飽和水蒸気圧=23.39 [hPa]
 乾燥炉に供給される水蒸気圧=23.39x0.8=18.7[hPa]
 105°Cで液状水と平衡する飽和水蒸気圧=1209[hPa]
 乾燥炉内の相対湿度=18.7/1209=0.01546 (約1.5%)

④より

$$\Delta\mu_s(105) = \frac{8.314 \times (273.15 + 105)}{9.8 \times 18 \times 10^{-3}} \times 2.3 \times \log(0.015) = 17820 \times 2.3 \times (-1.82) = -7.46 \times 10^6 \text{ [cm]}$$

$$pF = \log \left| -7.46 \times 10^6 \right| \approx 0.87 + 6 = 6.9$$

解説: 105°Cの電気炉で乾燥させた土壤にも計算上はわずかに水分が残っていることになる。

不凍水

0°C付近で急激に変化

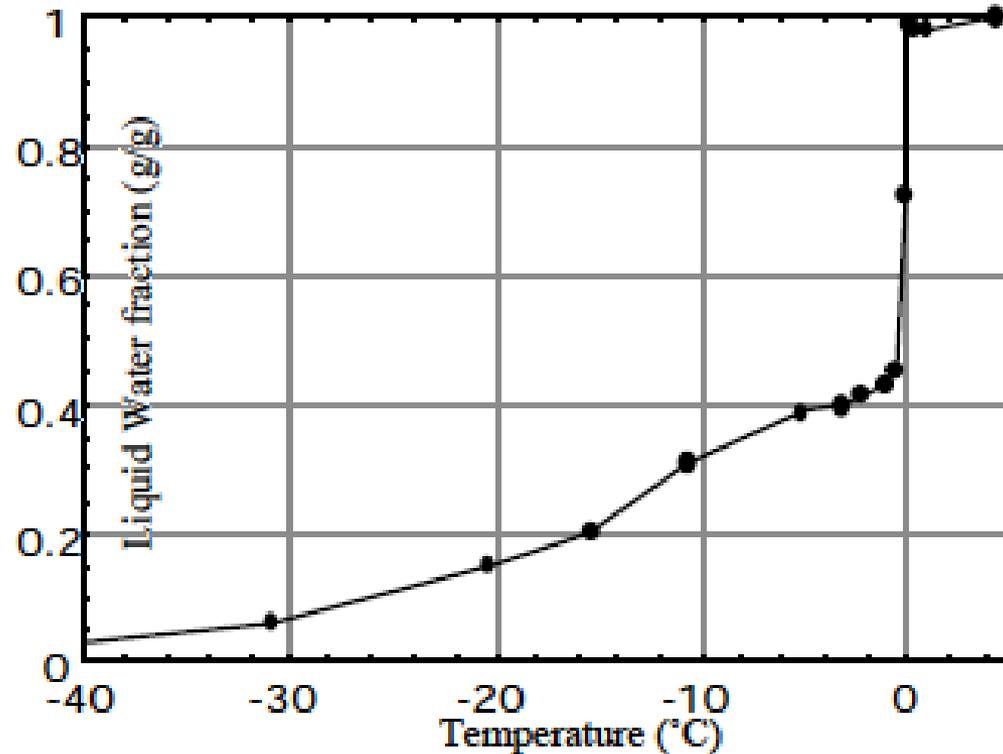
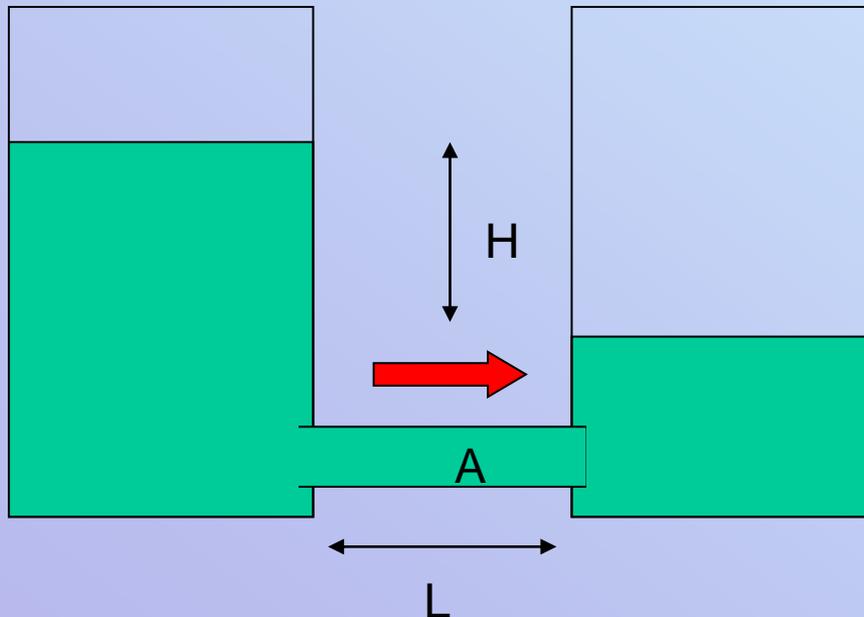


Fig. 2. Liquid water fraction in the frozen porous medium measured by NMR technique.

土の透水性

ダルシーの法則: $Q = -K (H/L)A$

- ・ 水は(ポテンシャルの)高いところから低いところへ流れる
- ・ Kは土によって異なる



Q: 流量 (cm³/s)
K: 透水係数 (cm/s)
H: 水頭差 (cm)
L: 長さ (cm)
A: 通水面積 (cm²)

凍結過程の熱と水分の移動式

$$\frac{\partial \theta_T(h)}{\partial t} + \frac{\rho_i}{\rho_w} \frac{\partial \theta_i(T)}{\partial t} =$$

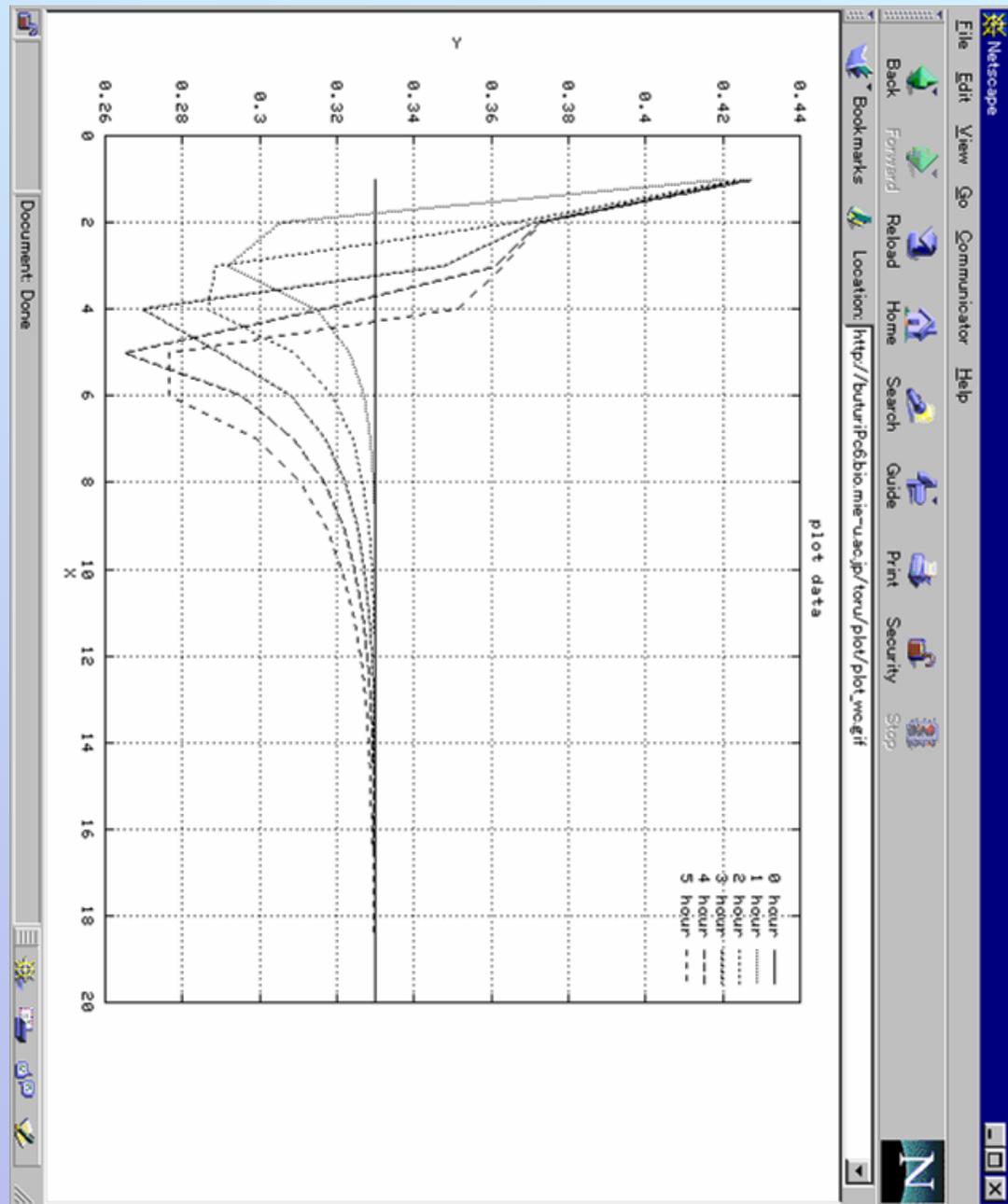
$$= \frac{\partial}{\partial z} \left[K_{Lh}(h) \frac{\partial h}{\partial z} + K_{Lh}(h) + K_{LT}(h) \frac{\partial T}{\partial z} + K_{vh}(\theta) \frac{\partial h}{\partial z} + K_{vT}(\theta) \frac{\partial T}{\partial z} \right] - S \quad (1)$$

$$\frac{\partial C_p T}{\partial t} - L_f \rho_i \frac{\partial \theta_i}{\partial t} = \frac{\partial C_p T}{\partial t} - L_f \rho_i \frac{d\theta_i}{dT} \frac{\partial T}{\partial t} = \frac{\partial \left(C_p - L_f \rho_i \frac{d\theta_i}{dT} \right) T}{\partial t} = \frac{\partial C_a T}{\partial t} \quad (13)$$

$$\frac{dP}{dT} = \frac{L_f}{V_w T} \quad (15)$$

凍結過程の 土壌水分移動 (1984-1990)

- 凍結前線に土壌水が集まる
- 凍土中の液状水（不凍水）が減少



地球温暖化と永久凍土

優れた地球環境センサー

シベリア調査

- ツンドラ (N72°)
– 1997年・1998年夏



- タイガ (N62°)
- アラス (N62°)
– 2000年夏



シベリア地域の全体図



Tundra basin near Tiksi (全景)



Tundra basin near Tiksi, Russia, surveyed in August, 1998

穴を掘るのも一苦労

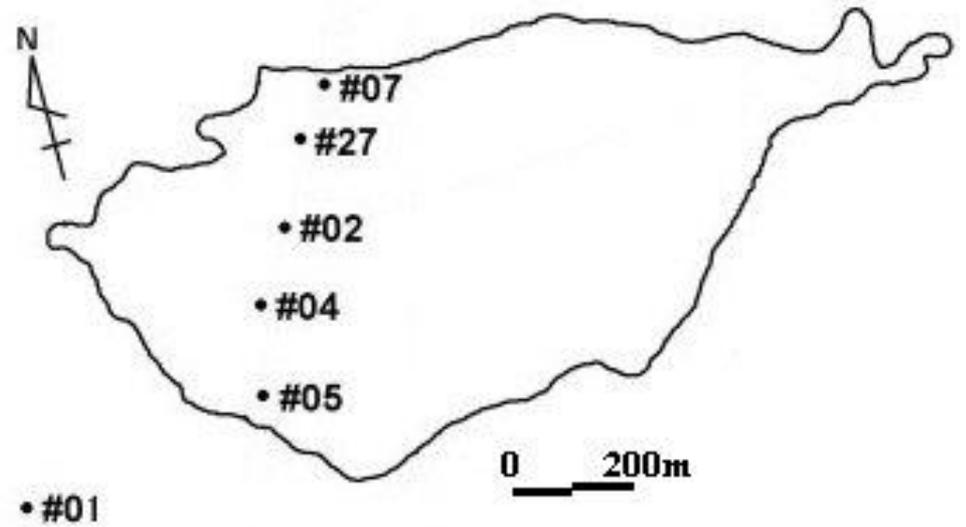


GAME-Siberia (1997-2000)



アラス調査 (2000)

- 湖や草原
– 塩類土壌



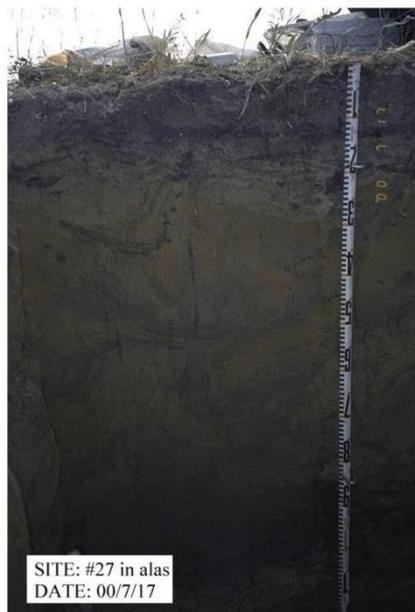
レナ川を横切る



穴に埋まって、はいポーズ

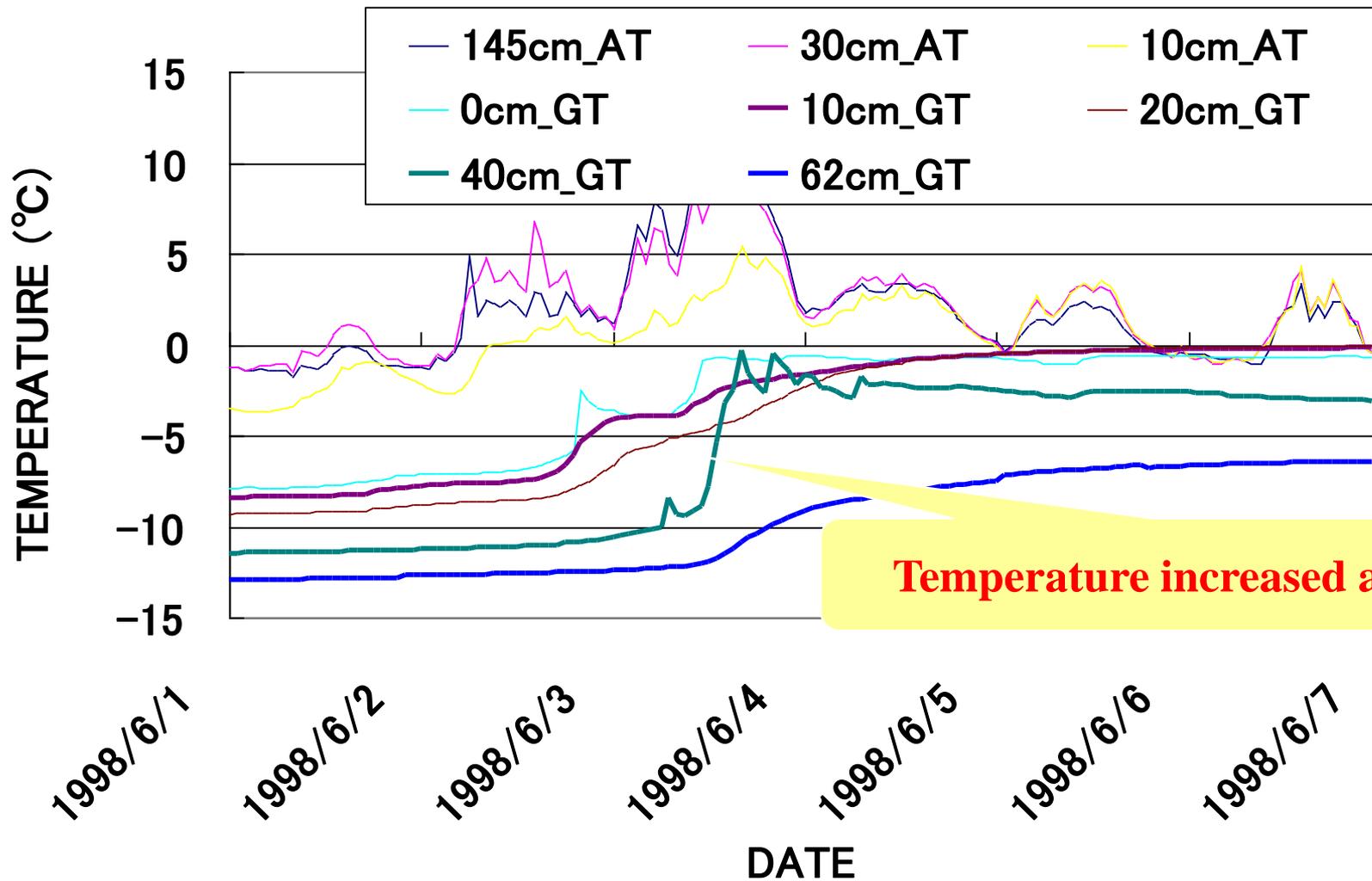


アラスの土壤断面



地温上昇の謎

AIR AND SOIL TEMPERATURE IN SUMMER TUNDRA



危険物処理班？

蚊から身を守る



わずかなスペースを見つけて



蚊から身を守る

ツンドラ構造土



ツンドラ土壌調査報告(写真集)

1997.8.10-8.22

<http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/~mizo/photo/siberia97/tundra/tundra.html>

永久凍土地帯に突如現れた巨大クレーター

気になる温暖化との関係

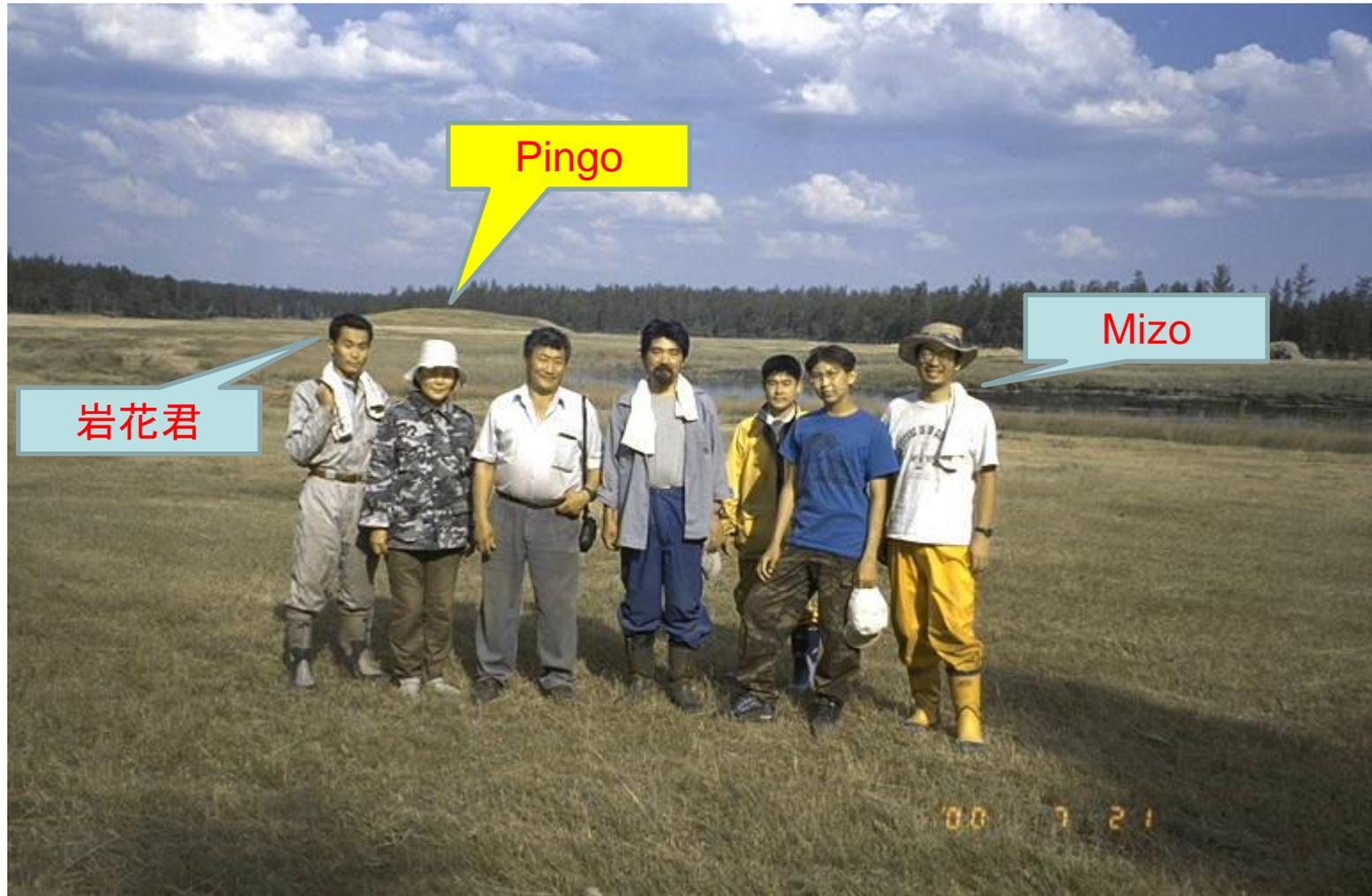


図1: 2020年に発見された第17クレーター。発見されてすぐに調査隊が現地に入り、内部構造に関する最新知見が得られた(撮影: Evgeny Chuvilin)

日経ビジネス(2021.12.8) 岩花 剛

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00374/120100006/> より引用

ピンゴ (Pingo) ≠ ビンゴ (Bingo)!

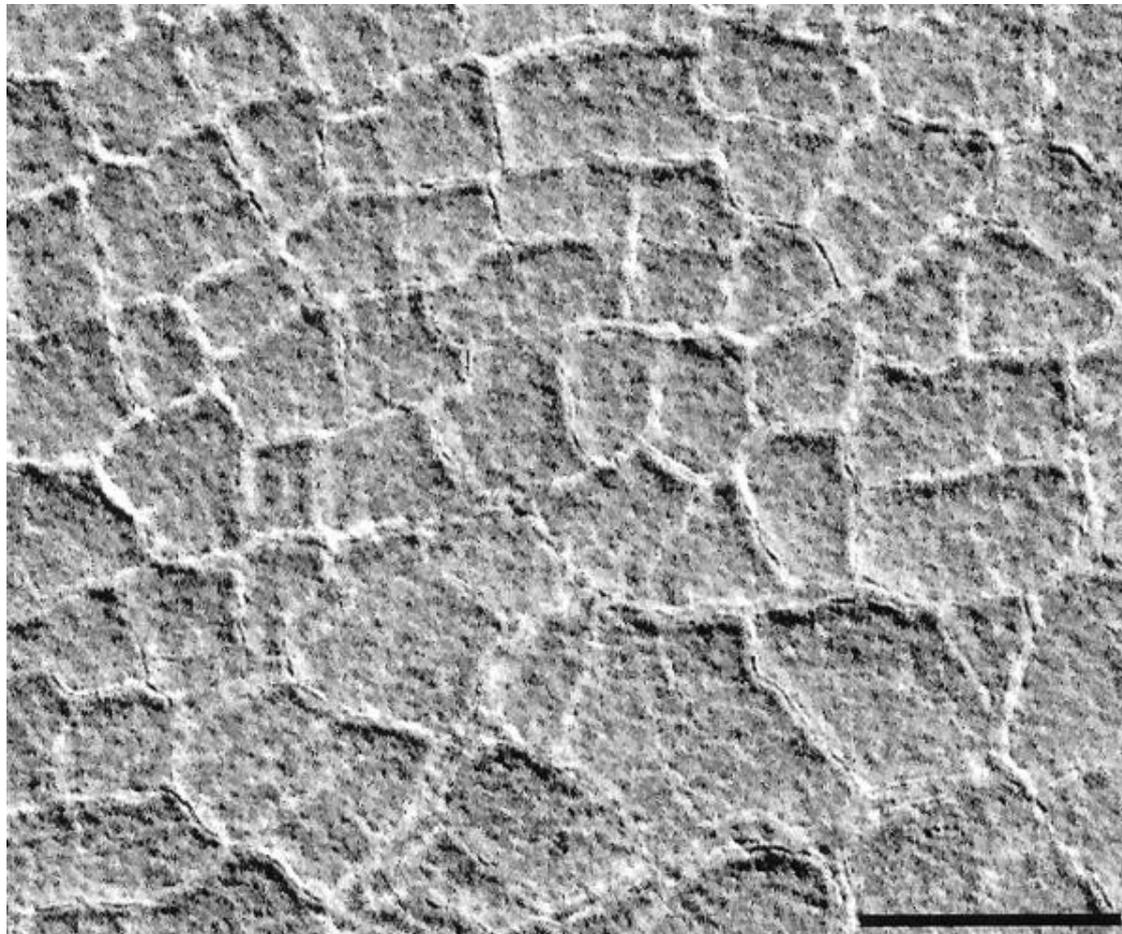


惑星の凍土

火星の高緯度地域に見られる Polygonal ground

Baker, V. R.: Water and the martian landscape, Nature,

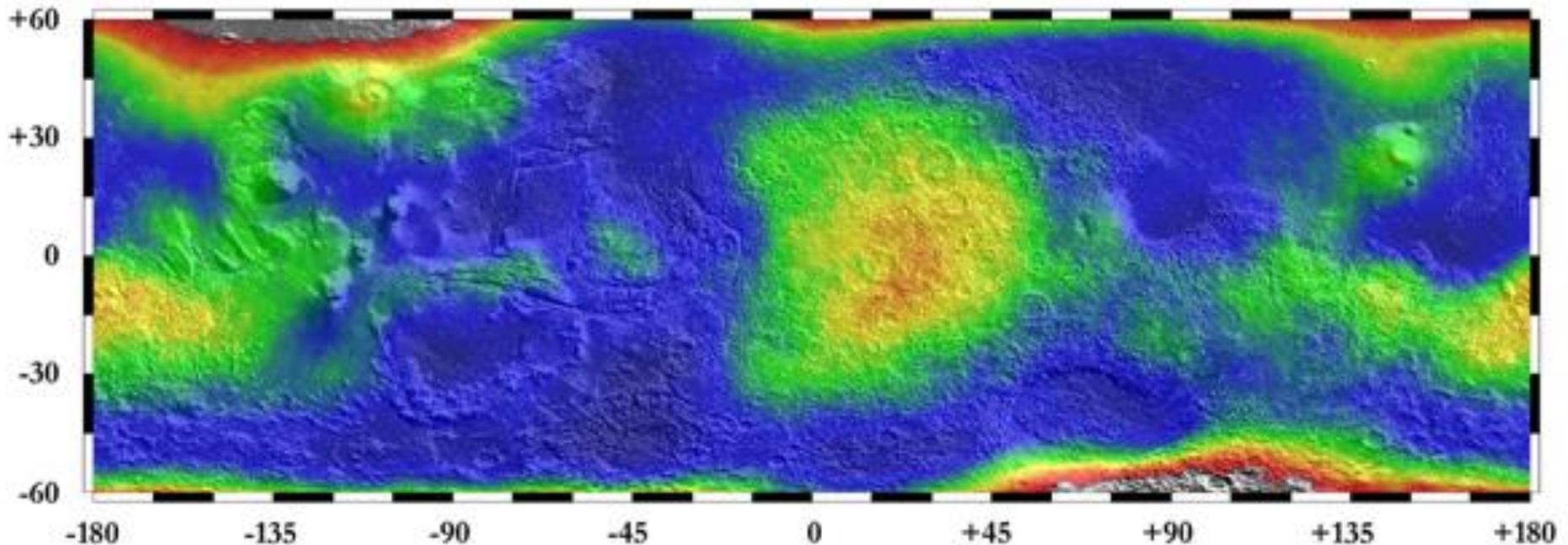
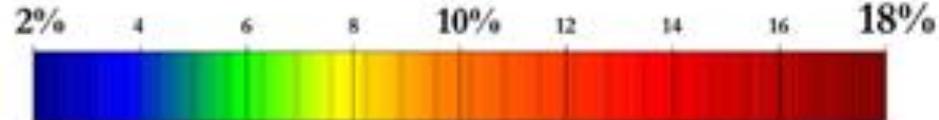
Vol. 412, pp.228-236, 2001



http://www.lanl.gov/worldview/news/photos/equator_water_lanl.jpg



Water Equivalent
Hydrogen Abundance



Distribution of Water on Mars: Overlay of water equivalent hydrogen abundance and a shaded relief map derived from MOLA topography. Mass percent of water was determined from epithermal neutrons counting rates using the Neutron Spectrometer aboard Mars Odyssey between Feb. 2002 and Apr. 2003.

Reference: Tikhonov B. C., T. H. Partridge, E. Minner, J. J. Plouffe, D. A. Roth, D. Y. Yumoto, M. Y. Medvedev, A. E. Matzger, E. W. Squyres, I. Karamehmedovic, W. V. Boynton, B. C. Tikhonov, H. G. Fawcett, D. J. Lawrence, and B. E. Teke, The global distribution of near-surface hydrogen on Mars, *JGR Planets*, submitted July 2003.

These data were generated by the Planetary Science Team at Los Alamos: B. Burningham, D. Roth, D. Chappin, B. Tikhonov, W. Boynton, H. Fawcett, G. Gornall, D. Lawrence, S. Maurice, G. McGovern, K. Moore, T. Partridge, B. Teke, D. Yumoto, and B. Zimm.

The neutron spectrometers aboard Mars Odyssey are a component of the Gamma-Ray Spectrometer suite of instruments, and designed and built by the Los Alamos National Laboratory and operated by the University of Arizona in Tucson. The Mars Odyssey mission is managed by the Jet Propulsion Laboratory.

NASA

Phoenix Mars Mission - Gallery - Images - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る - 進む - 検索 - お気に入り - 移動 - リンク >>

アドレス(D) http://phoenix.lpl.arizona.edu/images.php?gID=56696cID=76

Y! - 検索 - ログイン - ブックマーク - >>



MISSION EDUCATION BLOGS NEWS **GALLERY** Keyword Search: Search GO



**"Dodo-Goldilocks" Trench
Dug by Phoenix**
Photo credit: NASA/JPL-
Caltech/University of
Arizona/Texas A&M University
Date: 2008-06-16
Sol: Sol 22

+
-
◀ ▶

Download Image
[Small](#) - 31kb
[Medium](#) - 113kb
[Large](#) - 455kb

This color image was acquired by NASA's Phoenix Mars Lander's Surface Stereo Imager on the 20th day of the mission, or Sol 19 (June 13, 2008), after the May 25, 2008, landing. This image shows one trench informally called "Dodo-Goldilocks" after two digs (dug on Sol 18, or June 12, 2008) by Phoenix's Robotic Arm. The trench is 22 centimeters (8.7 inches) wide and 35 centimeters (13.8 inches) long. At its deepest point, the trench is 7 to 8 centimeters (2.7 to 3 inches) deep.

White material, possibly ice, is located only at the upper portion of the trench, indicating that it is not continuous throughout the excavated site. According to scientists, the trench might be exposing a ledge, or only a portion of a slab, of the white material.

The Phoenix Mission is led by the University of Arizona, Tucson, on behalf of NASA. Project management of the mission is by NASA's Jet Propulsion Laboratory, Pasadena, Calif.

インターネット

(おまけ)
土の凍結を利用した
福島における農地除染

10年の振り返り

<http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/edrp/fukushima/201017.html>

福島土壌除染技術

<http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/edrp/fukushima/fsoil/>

原発事故直後、いかに行動したか (溝口の場合)

2011.3.11 東日本大震災

- (2011.3.15) **東大福島復興農業工学会議の仮設立**
- (2011.5.30) 粘土表面の放射性セシウムセミナー
- (2011.6.7) 簡易空間線量計プロジェクト協力
- (2011.6.11) 土壌水分センサー講習会
- (2011.6.20) ボランティア未来農水と土サポート
- (2011.6.25) 飯舘村初踏査
- (2011.7.10) 中山間地セミナー:飯舘村の『土』は今
- (2011.7.29) 震災復興への処方箋セミナー (駒場生対象)
一農業工学でできること一
- (2011.8.30) **ふくしま再生の会との出会い**
- (2011.9.4) 東大福島復興農業工学会議現地調査

How do we act
for the afflicted area
after Fukushima nuclear accident?
The respective trajectories of experts and sufferers

原発事故後、
いかに行動したか
専門家と被災者の軌跡



中山間地域フォーラム5周年記念シンポジウム

『早期帰村』実現の課題—福島県飯舘村』

【テーマ】 『早期帰村』実現の課題—福島県飯舘村』
【日時】 2011年7月10日(日)14時~17時30分
【会場】 東京大学弥生講堂一条ホール

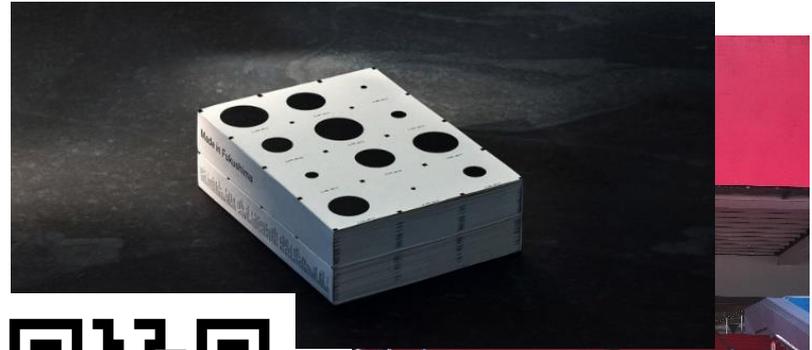
【プログラム】
現地報告1.「飯舘村は訴える」菅野典雄氏(福島県飯舘村村長)
現地報告2.「飯舘村の『土』は今」溝口 勝氏(東京大学教授)



原発事故後の活動

農地除染法の開発と農業再生

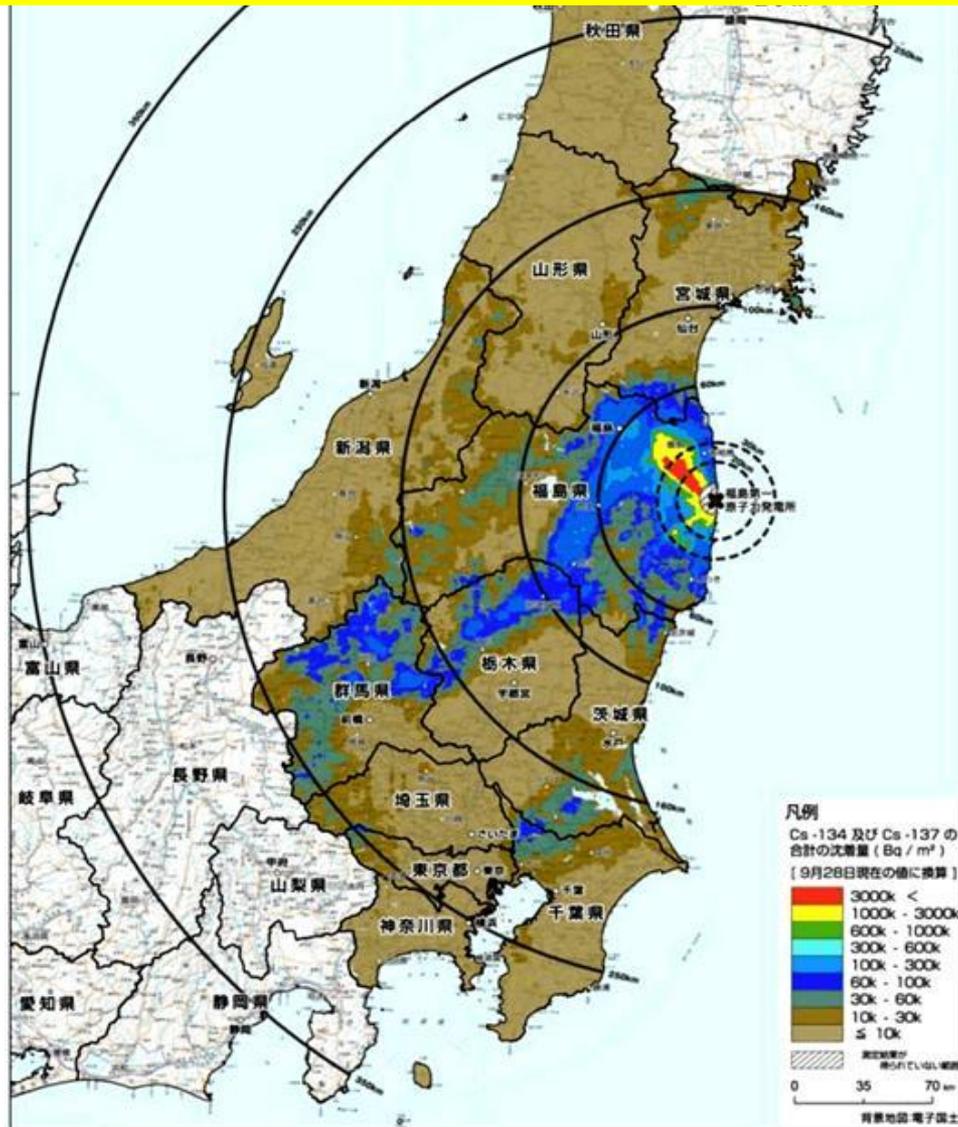
- (2012.1.8) 凍土剥ぎ取り法
- (2012.4.1) 田車による泥水掃き出し法
- (2012.10.6) 東大農学部 of 学生見学会
- (2012.12.1) まいでい工法(汚染土埋設法)
- (2013.5.15) 泥水強制排水法
- (2013.5) 林地の土壌中Cs分布の調査
- (2013.6.6) 水田における湛水実験
- (2015.6.26) 除染後農地土壌の排水性調査
- (2016.5.15) 森林小河川のCs流出モニタリング
- (2016.6.24) イグネ除染実験(汚染土埋設法)
- (2017.3.21) 飯館花壇
- (2017.3.31) **避難指示解除**
- (2018.3.5) 飯館村と東大と連携協定
- (2018.5.1) 純米酒「不死鳥の如く」誕生
- (2019.6) カンヌ・ライオンズにノミネート
- (2019.8) 東大むら塾がソバ栽培



各項目の内容や写真については下記URLからご覧ください。

<http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/edrp/fukushima/201017.html>

放射性セシウムの分布



農地の標準除染法

農林水産省 農地除染対策の技術書概要 【調査・設計編、施工編】

平成24年8月



表土削り取り



水による土壌攪拌・除去



反転耕

行先はどこ？ 汚染土の入ったフレコンバック



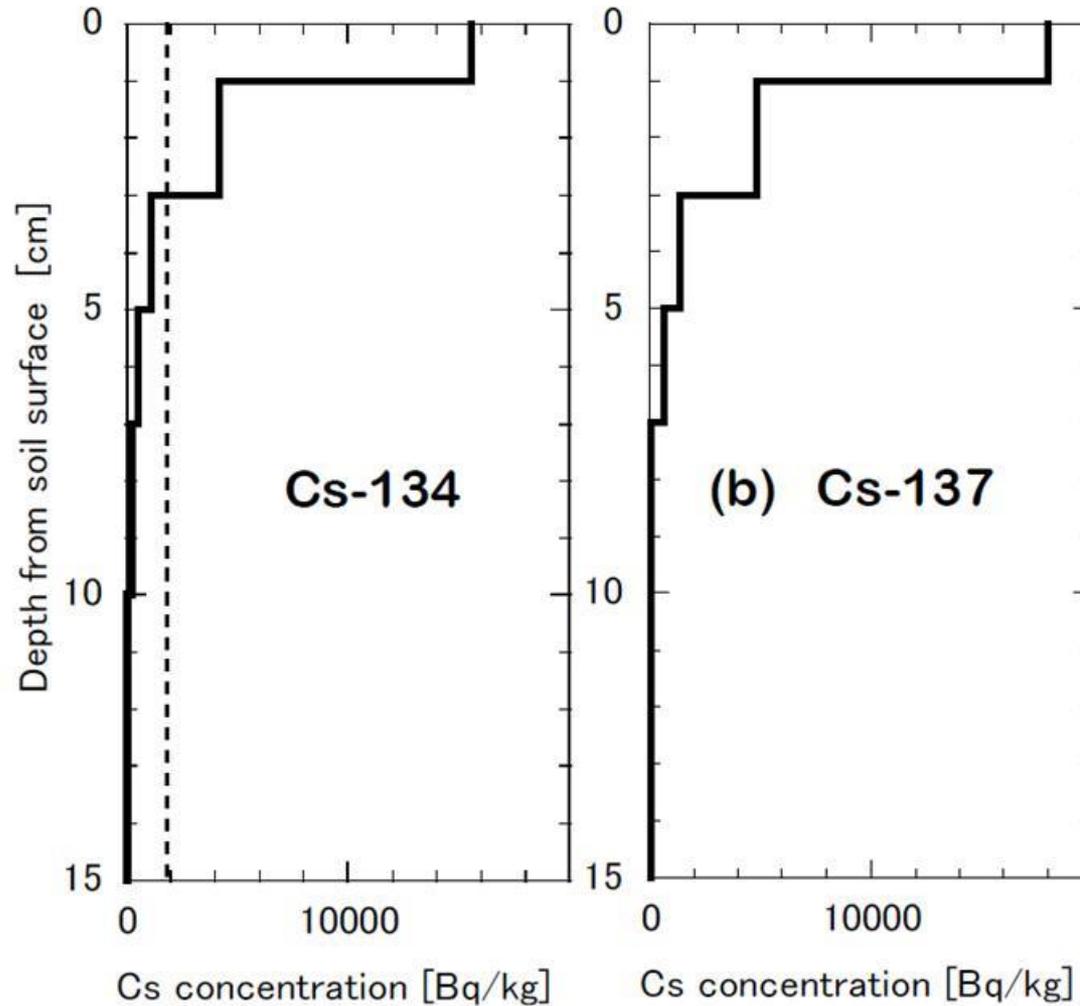
飯舘村草野地区 (2012年6月24日)



飯舘村須萱地区 (2013年8月17日)

放射性セシウムの濃度(2011.5.24)

実線:不耕起水田, 破線:耕起水田



塩沢ら:福島県の水田土壌における放射性セシウムの深度別濃度と移流速度,
RADIOISOTOPES誌, 8月号, 2011より引用

交換性陽イオン

1 H 1.0079																	18 He 4.0026
3 Li 6.941	4 Be 9.0122											5 B 10.811	6 C 12.011	7 N 14.007	8 O 15.999	9 F 18.998	10 Ne 20.180
11 Na 22.990	12 Mg 24.305											13 Al 26.982	14 Si 28.086	15 P 30.974	16 S 32.065	17 Cl 35.453	18 Ar 39.948
19 K 39.098	20 Ca 40.078	21 Sc 44.956	22 Ti 47.867	23 V 50.942	24 Cr 51.996	25 Mn 54.938	26 Fe 55.845	27 Co 58.933	28 Ni 58.693	29 Cu 63.546	30 Zn 65.409	31 Ga 69.723	32 Ge 72.64	33 As 74.922	34 Se 78.96	35 Br 79.904	36 Kr 83.798
37 Rb 85.468	38 Sr 87.62	39 Y 88.906	40 Zr 91.224	41 Nb 92.906	42 Mo 95.94	43 Tc (98)	44 Ru 101.07	45 Rh 102.91	46 Pd 106.42	47 Ag 107.87	48 Cd 112.41	49 In 114.82	50 Sn 118.71	51 Sb 121.76	52 Te 127.60	53 I 126.90	54 Xe 131.29
55 Cs 132.91	56 Ba 137.33	57-71 *	72 Hf 178.49	73 Ta 180.95	74 W 183.84	75 Re 186.21	76 Os 190.23	77 Ir 192.22	78 Pt 195.08	79 Au 196.97	80 Hg 200.59	81 Tl 204.38	82 Pb 207.2	83 Bi 208.98	84 Po (209)	85 At (210)	86 Rn (222)
87 Fr (223)	88 Ra (226)	89-103 #	104 Rf (261)	105 Db (262)	106 Sg (266)	107 Bh (264)	108 Hs (277)	109 Mt (268)	110 Ds (281)	111 Rg (272)	112 Uub (285)	113 Uut (284)	114 Uuq (289)	115 Uup (288)	116 Uuh (291)	118 Uuo (294)	

* Lanthanide series

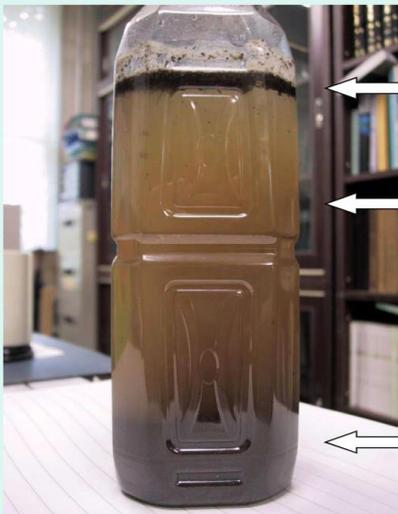
57 La 138.91	58 Ce 140.12	59 Pr 140.91	60 Nd 144.24	61 Pm (145)	62 Sm 150.36	63 Eu 151.96	64 Gd 157.25	65 Tb 158.93	66 Dy 162.50	67 Ho 164.93	68 Er 167.26	69 Tm 168.93	70 Yb 173.04	71 Lu 174.97
---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

Actinide series

89 Ac (227)	90 Th 232.04	91 Pa 231.04	92 U 238.03	93 Np (237)	94 Pu (244)	95 Am (243)	96 Cm (247)	97 Bk (247)	98 Cf (251)	99 Es (252)	100 Fm (257)	101 Md (258)	102 No (259)	103 Lr (262)
--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

p.23

2.2 土壌の主要な構成成分
-粘土鉱物、土壌有機物、土壌生物-



土壌の構成成分の簡単な分画

- ← 腐朽途中の植物遺体
(土壌有機物)
- ← 粘土鉱物 (2µm以下)
- 全体の黒っぽい色・腐植物質
(土壌有機物)
- 目に見えないが・土壌生物
- ← シルト、砂 (2µm以上)

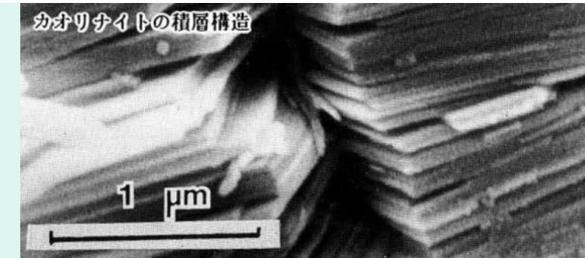
p. 24

(1) 粘土鉱物 代表的な粘土鉱物:層状ケイ酸塩粘土鉱物

カオリナイトの六角板状結晶



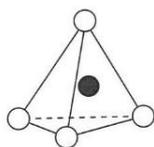
景德鎮の材料
白粘土の産地
高嶺⇒カオリン



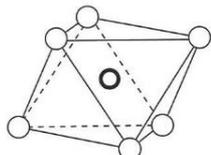
p.28

p.26

層状ケイ酸塩粘土の基本構造

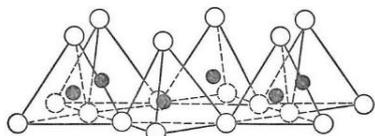


シリカ4面体
シリカ: Siの酸化物

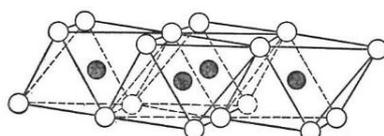


アルミナ8面体
アルミナ: Alの酸化物

- ケイ素 (Si) ○酸素 (O)
- アルミニウム (Al) ○酸素 (O) または水酸基(OH)

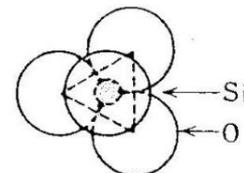


4面体シート

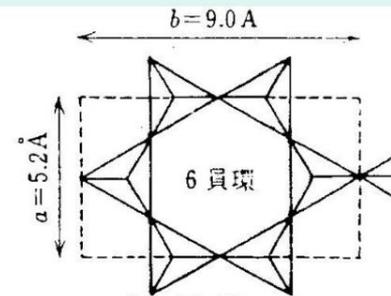


8面体シート

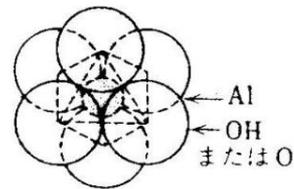
土壌通論(朝倉書店)、土壌学の基礎(農文協)より



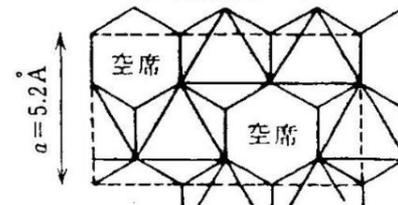
(a) ケイ素四面体



(b) 四面体シート



(c) アルミニウム八面体



(d) 2八面体シート

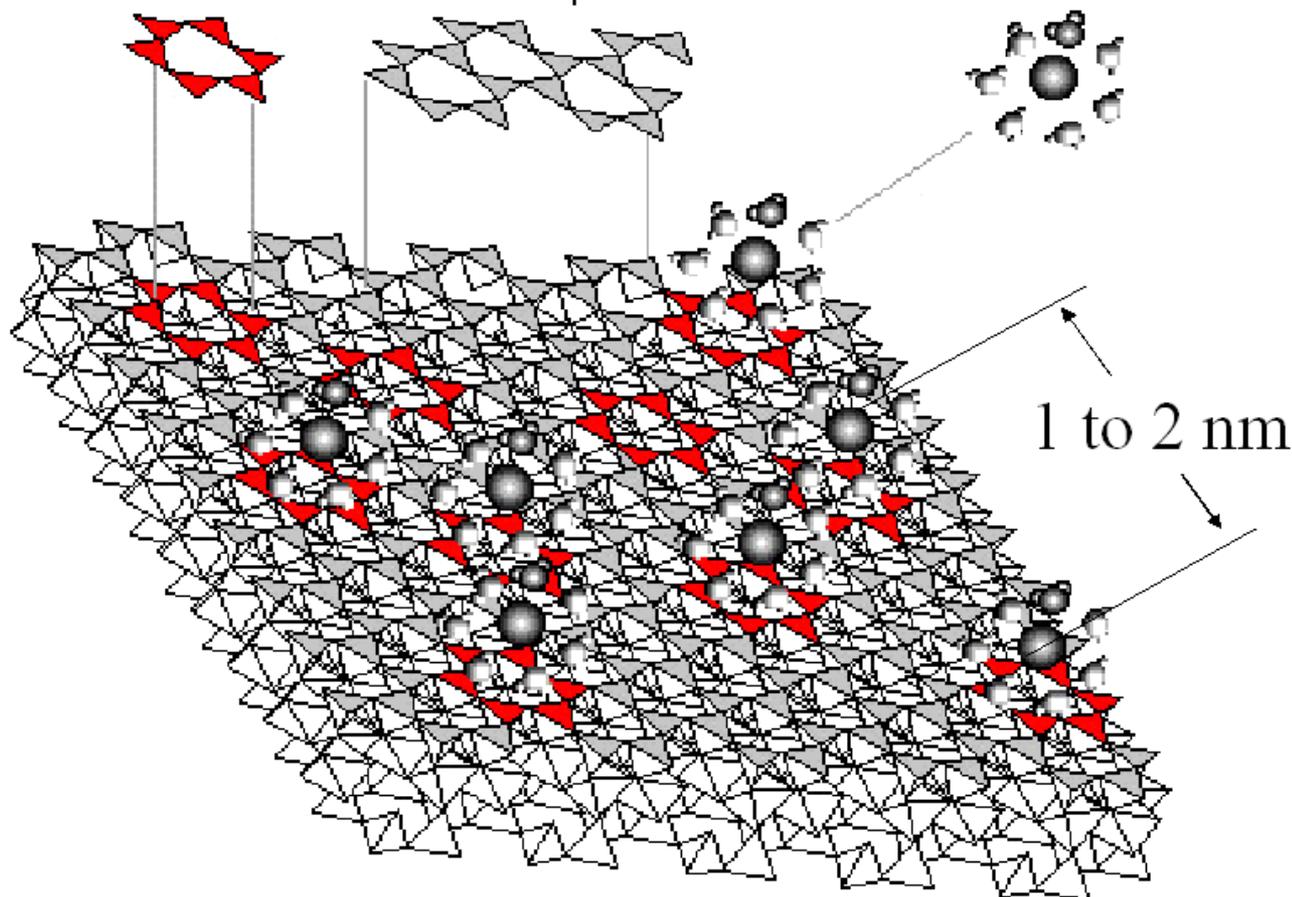
図 3.1 層状ケイ酸塩鉱物の基本構造 (三枝, 1989)



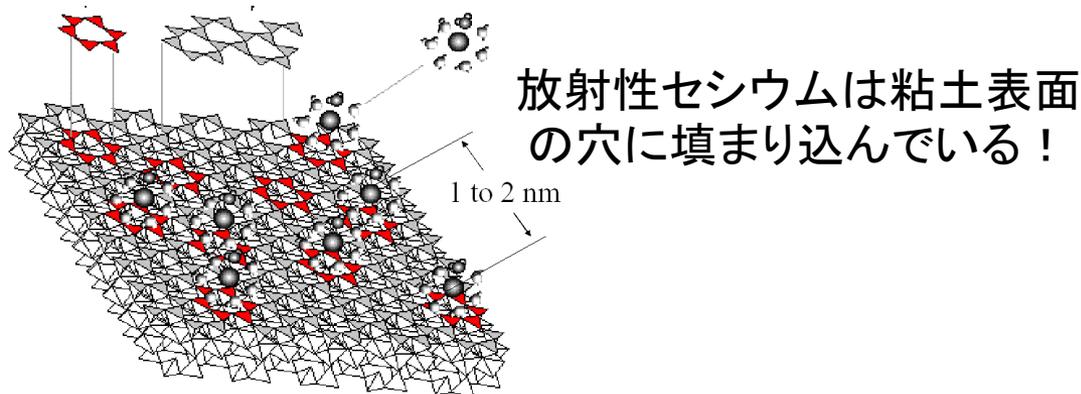
zo lab.

放射性セシウムは粘土表面の穴に 落ちている！

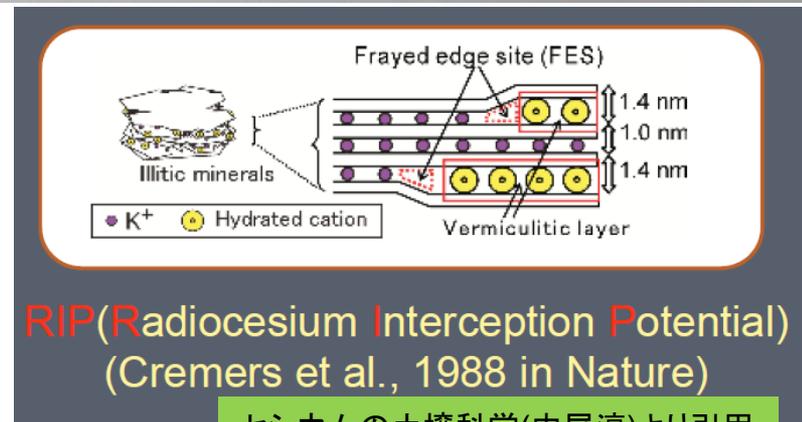
Hydrophilic Sites



放射性セシウムはカリウムと入替わって 農地土壌中の粘土粒子に固定される



by Prof. C.T Johnston @Purdue Univ.



RIP (Radiocesium Interception Potential)
(Cremers et al., 1988 in Nature)

セシウムの土壌科学(中尾淳)より引用

飯舘村役場横の斜面の放射線量測定 (2011.6.25;溝口・登尾)



2.5 $\mu\text{Sv/h}$

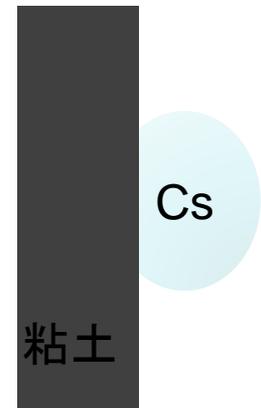
3.5 $\mu\text{Sv/h}$

7.0 $\mu\text{Sv/h}$

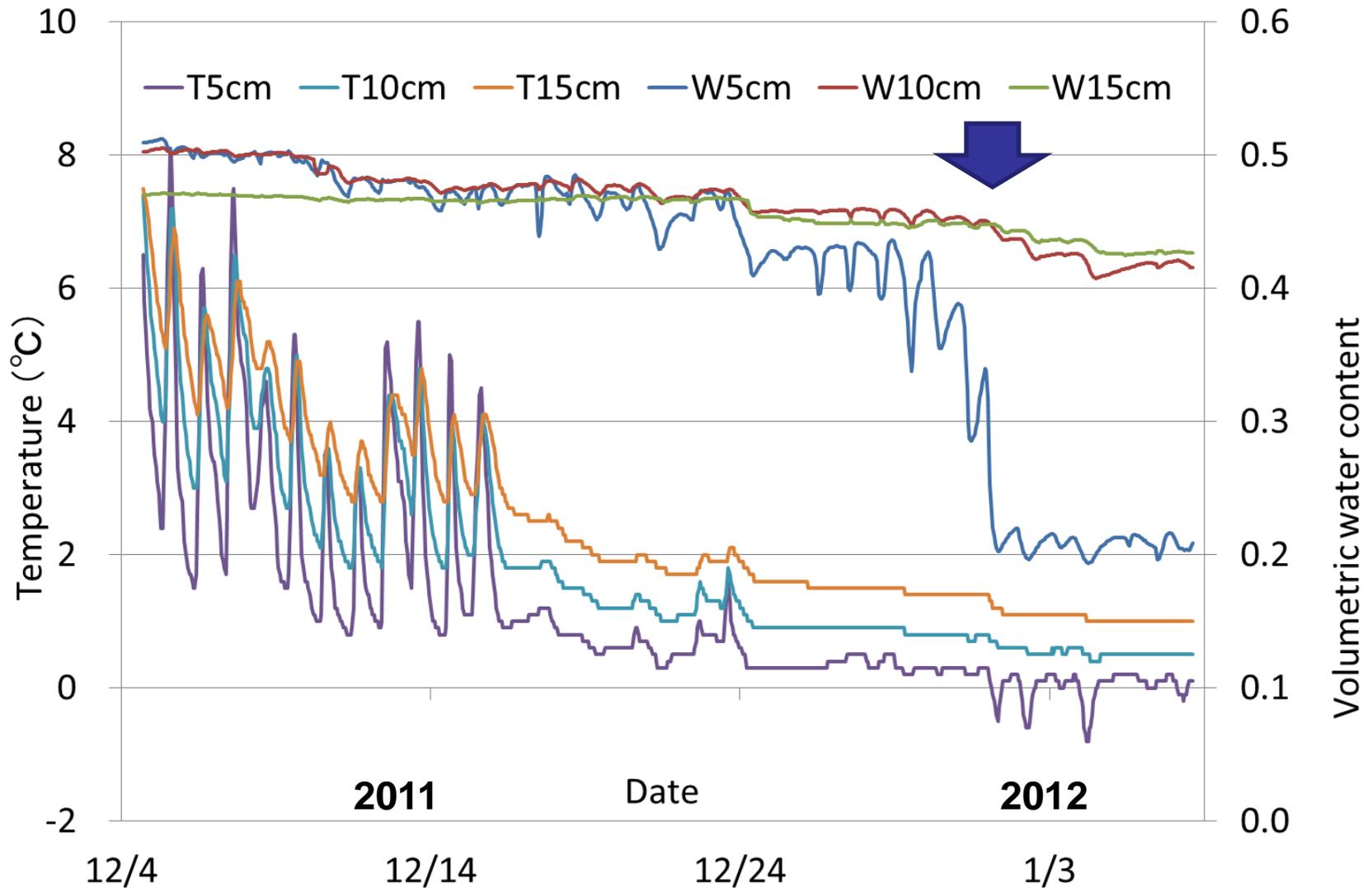
放射性セシウムを理解するポイント

有機物に弱く吸着しているセシウムは別として

- 粘土粒子と一体化して考える
- 粘土の移動に注意する
- 粘土の除去を考える



飯舘村の実験水田の地温と土壌水分



土壤凍結深計による凍結深度の測定



板状の塊のまま剥ぎ取られた厚さ 5cmの凍土



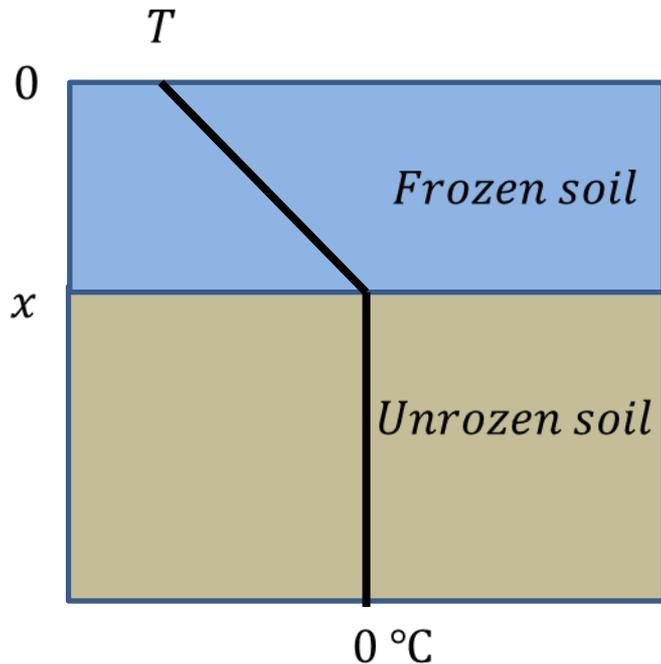
地表面からの放射線量(コリメータ付)が1.28 μ Sv/hから0.16 μ Sv/hに低下

飯舘村佐須の水田における 凍土剥ぎ取り実証実験(2012年1月8日)



Appendix: Equation for Estimating the Frozen Soil Depth Based on the Air Temperature

https://link.springer.com/chapter/10.1007/978-4-431-54328-2_13



x : Frozen depth t : time
 T : surface temperature
 k : Thermal conductivity of soil
 θ : Volumetric water content of soil
 L : Latent heat

$$k \frac{T}{x} = \theta L \frac{dx}{dt}$$

$$x = \sqrt{\frac{2k}{\theta L} \int T dt}$$

$$F = \int T dt$$

$$x = \sqrt{\frac{2k}{\theta L} F}$$

$$x = \alpha \sqrt{F}$$

いま科学技術が問われている

- 農学と情報科学で風評被害をなくせるか？

- 農学栄えて農業滅ぶ

– 横井時敬(1860-1927)

土に立つ者は倒れず、
土に生きる者は飢えず、
土を護る者は滅びず

どんなに恐ろしい
武器を持っていても
たくさんのかわいそ
うなロボットをあや
つっていても

土からはなれては
生きていけないのよ！



「天空の城ラピュタ」
シータの名セリフ
(宮崎駿, 1986)

- いま農学部は何をすべきか？

- 稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け

まとめ

- 駒場農学校・横井時敬先生(1860-1927)の名言
 - 農学栄えて農業滅ぶ
 - 土に立つ者は倒れず、土に生きる者は飢えず、土を護る者は滅びず
 - 稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け
- いま東大農学部は何をすべきか？
 - 現場から課題を自ら発見し、解決する学習の強化
 - FPBL(Field and Project-Based Learning)



復興農学会 2020年6月発足

復興農学会

イベント

会誌

成果報告

シーズ

自由投稿

事務局便り

会員登録

復興農学会のホームページ



復興農学会は

国内・外の**自然災害・原子力災害等**からの**復旧・復興**から得た**農林水産業分野における知見・技術**を、**広く国内・外に発信**します。

会長: 生源寺 眞一
(福島大学)

目的

市民、教育・研究機関、企業、団体、自治体等の

- ▼相互の**学術・技術・教育等の交流**を促進
- ▼復旧・復興事業で培った**学術・技術・教育等の成果**を「復興農学」として**体系化し、深化と継続をはかる**。

具体的事業

- ▼教育・研究活動の**成果の共有**
- ▼共同事業の**企画・推進**
- ▼研究会、シンポジウム等の**開催**
- ▼教育・研究資料の**収集・配布**

主幹大学等

東京大学、東京農工大学、東北大学、福島大学(事務局)、郡山女子大学、東京農業大学、福島工業高等専門学校

農学分野
専門性

生産環境農学
農芸化学
森林園科学
水圏応用科学
社会経済農学
農業工学
動物生命科学
境界農学

支部
地域性

北海道
東北
関東
東海
近畿
中国
四国
九州
沖縄
海外



想定会員

- 正会員
- 学生会員
- 賛助会員
- 実務会員
 - ・公務員
 - ・団体職員
 - ・会社員等
- 実践会員
 - ・農林水産業者
- シニア会員
 - ・65歳以上
- ヤング会員
 - ・高校生以下
- その他会員
 - ・自由業
 - ・専業主婦(夫)
 - ・アルバイト等

年2回発行(1月と7月)
第4号の原稿募集中

子どもから大人まで、研究者から農業実務者まで、どなたでも参加できます。

復興農学会誌

Journal of Reconstruction Agriculture and Sciences
第1巻 第1号 2021年 1月



- ◆被災現場の**声に耳を傾**けます。
- ◆農学分野を「**専門性**」の縦糸と「**地域性**」の横糸でつなぎます。
- ◆未来を見据えた**地域と農業の復興**を果たします。
- ◆日本と世界の**農業・食料生産の持続的発展**をめざします。

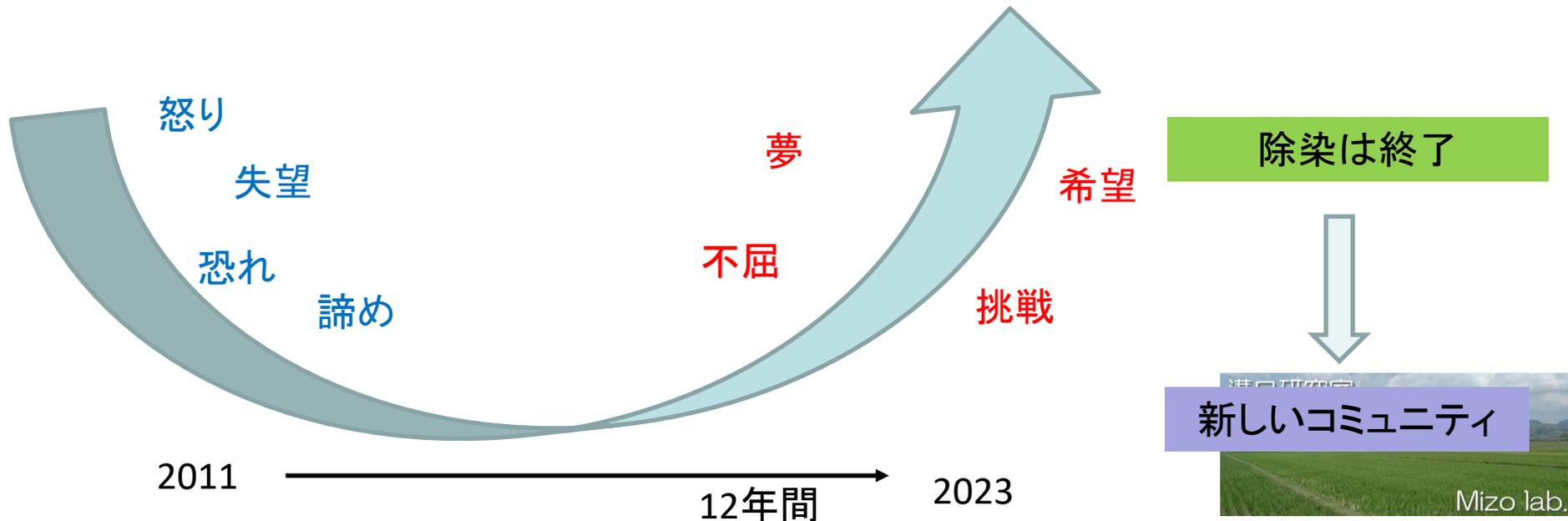
市民・自治体参加型の学会誌 2021年1月に創刊

復興農学：新しい農学

RESILIENCE AGRONOMY

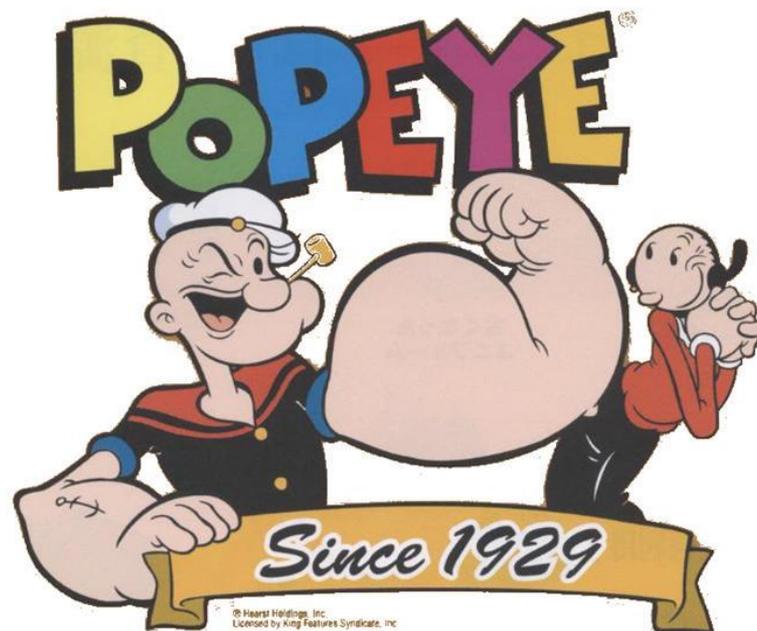
- Resilience: the ability to be **happy, successful, etc.** again after something difficult or bad has happened (Cambridge

復興：Reconstruction → Resilience



タフな東大生諸君！ こんな学生なってね！

- 1に体力
- 2に食欲
- 3・4はなくて
- 5にジョーク！



ちょっとだけ研究室の宣伝(これは選択)
土壌物理学、情報通信技術

- とにかく心身ともに健康に！



さらに知りたい人のために

- [Mizo lab](#)
- [飯舘村関連の講義](#)
- [福島土壌除染技術](#)
- [マスコミ報道](#)



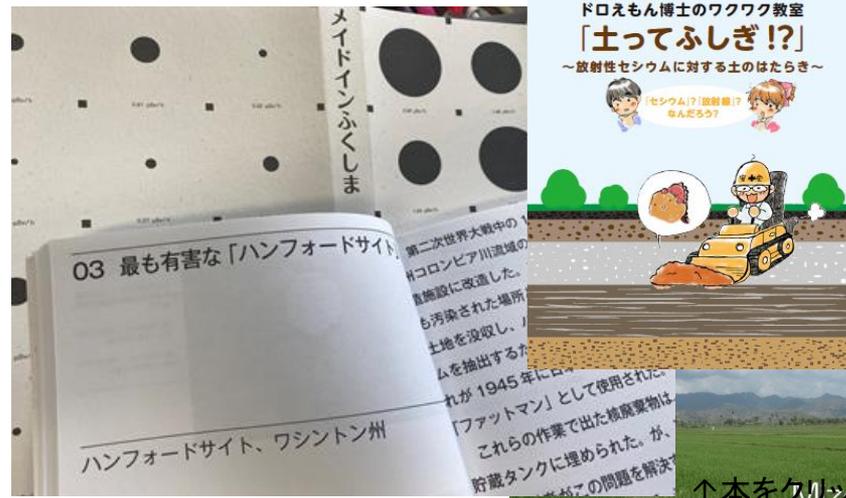
2020年12月10日発行

<https://hachikou.theshop.jp/>

2021年3月11日発行



検索＝みぞらぼ



↑本をクックMizo lab.